

1996年度 部報

力漕

Vol. 4

WILD ROVER CREW

同志社大学体育会漕艇部



50年の感謝をこめて
21世紀の夢へ、セキスイは
あなたとともに

プラスチックスが日本の暮らしを変えていく。ちょうど50年前の今日、積水化学は確たる志を胸に未知の分野への挑戦を始めました。新素材への夢は、やがて時代とともに領域を越えて拡がります。住宅を中心に住宅資材・生活用品など暮らしを快適にする分野へ。社会を支えるライフライン関連のほか、産業・医療の分野でも。いまでは、暮らしの身近でかかせない製品として、私たちの夢の多くは実現しました。振り返れば、みなさまとともに歩ませていただいた「一緒に暮らす」の半世紀でもあります。

新しい世紀を目前にひかえた今、セキスイは次代の夢の実現に向かって、あらためて「一緒に暮らす」の意味をかみしめます。生活者としての視点の大切さ。共生していくことの重み。とれだけ時代が変わろうとも、とれだけ領域が広がるうとも、深く胸に刻んでおくべきこととして。

21世紀もセキスイは、みなさまの暮らしのすぐそばで、信頼と満足をお約束する魅力ある企業をめざします。一緒に暮らす、セキスイと。今日から始まる私たちの新世紀への歩みにご期待ください。

一緒に暮らす、セキスイと。

SEKISUI

積水化学工業株式会社 〒530 大阪市北区西天満2-4-4
積水化学インターネットホームページアドレス <http://www.sekisui.co.jp/>
企業案内、新技術情報や新製品情報のほか「社員が語るセキスイ」をはじめとした採用情報などにアクセスできます

積水化学がお届けするテレビ紀行番組。ぜひ、ご覧ください。
道には、歴史があり、謎があり、発見がある
世界の道、日本の道を旅し、人間の足跡をたどります。
毎週日曜午前11時～11時30分 TBS系全国ネットで放映中

《目次》

部報 力漕

ご挨拶.....1

新シーズンに向けて.....2

1996年度活動報告.....3

卒業生のことば.....31

お知らせ.....35

名譽.....43

編集後記.....40

年間スケジュール.....14

活動内容.....15

出版スケジュール.....16

年間成績一覧.....18

会計報告.....20

ご結婚・お悔やみ.....35

伝言板.....36

現役名簿.....43

〈目 次〉

Table of contents listing page numbers and titles for various sections of the yearbook.

ご挨拶

漕艇部部长 岡本博公

1996年度のボート部の年誌『力漕第4号』の刊行にあたり、日頃からご支援いただいています艇友会の皆様、ご父母の皆様にお礼を申し上げます。私どもボート部が部活動に専念できるのも皆様に支えられてこそです。おかげさまで学生諸君は、今年も自主的で、規律あるボート部生活を送ることができました。

毎年9月の終わるか10月の初めに「引き継ぎ」が行われます。この日の事務処理で名実ともに4回生は引退し、3回生にバトンタッチして新しい体制が出発するわけです。

ここ数年、この引き継ぎの日に、私は引退する4回生と呑むことにしてきました。彼や彼女らの労をねぎらうというほどの立派なものではありませんが、ささやかなながらご苦労さんをいいたいく気分もあって、引退する主務に最後の仕事だと頼んで、都合のつく者に集まってもらっています。

ついひと月前まで、私の前ではやや緊張しながら主将や主務やその他諸々の役を果たしてきた彼・彼女たちですが、この呑み会では実に無邪気に語り合い、そして騒ぎます。シーズンを振り返るにはまだ生々しいようで、例年、この席ではボート部のその年の結果はあまり話題になりません。むしろ、いわゆる「フツの学生」のような、就職した後のこと（ボートを漕いでるかとか車を売ってるんだろうとか）、成績のこと（フツの成績のことじゃなく卒業できるかどうかという方の成績）、異性のこと（これはもう大変）など他愛のないことに終始することが多いようです。

しかし、無邪気で他愛ない話題ですが、4年間もの長い間辛苦をともに過ごした者たちの、そしてそれだからこそ全く気をおく必要のない者たちの、賑やかで伸びやかなやりとりは、傍らで聞いていても実に楽しいものがあります。私が毎年この会を企んできたのは、この楽しさに加わりたいからだと言っただけでよいかもしれません。ここには間違いなく見事な青春があると、私などは羨ましくなるほどです。彼や彼女たちが4年間のボート部生活で何を得たのか、その全体像は窺い知ることはできませんが、ボート部を選んだこの学生たちの選択は間違っていなかったのだろうと考える一時です。

私の大好きなある映画で、人間なんのために生きてるのかなという問いに、「生きてて良かったなと思う瞬間があるだろ、そのために生きているんじゃないかな」と答えるシーンがありました。ボート部で過ごしたことのない私にはよく分かりませんが、もしかしたらボートを漕いで手良かった、あるいはボート部にいて良かったと思うことがあれば、それが至福の時なのかもしれません。私は、そうであってほしいと願うものです。

新シーズンに向けて

《寄稿》

〈コーチングスタッフ〉

監督補佐兼任コーチ 田中 重次郎

四方久男氏、同志社ボート史上、無二の名監督に、昨年より現場復帰を要請し続け、艇友会小野木会長の御尽力と山崎キャプテンを中心とした現役生の強い要望を受けて、ついに96年11月総監督として現役復帰願えたことは、低迷を続ける同志社ボート部復活の第一歩として大変心丈夫なことでした。

現役陣は、大きな心の支柱を得て、まずは関西学生チャンピオンの座を取り戻すべく、ボートマンとしての基礎体力づくりに、秋期、冬季のトレーニング時間を重点配分し、97年シーズンには、パワーのある同志社エイトの復活を夢に描いて地道な努力を重ねていきます。

山崎キャプテン率いる現役部員の97年度目標はあくまでもエイトでの勝利であり、関西学生チャンピオンとなり、その余勢を駆ってインカレの決勝レースに挑戦するとの固い意志です。

関選で同志社の雄姿を復活させ、戸田で関東勢と互角の勝負を実現させるため、500m80秒のスピードを第一関門と考え、その実現に最大努力します。

現時点では、「大きな夢」と云わねばならないでしょうが、春になると共に現実に引き寄せて「小さな夢」にして、さらにより「大きな夢」を描く必要があります。クルー全員で大きな夢を追いかけ続け、97年夏には「栄光」に輝いていて欲しい。

今の同志社は、完全なるチャレンジャーです。失うものは何もないのです。ひたすらチャンピオンの夢に向かって走り続けるだけです。何をすべきか、何を考えるべきか、全て同志社にはノウハウはあるのです。迷うことなく、夢に向かって、ひたすら必要な練習を一つ一つクリアして、努力を惜しまず、忍耐力を養成することです。栄光に通じる楽な道はないのです。苦痛を我慢するスポーツ、むしろ苦痛が大きいからこそ普通の人間が才能ある人間に勝てるチャンスを持つのが、ボートの面白き要素なのです。ボート競技の良いところは、たとえそれが人工の障害物であっても、目的の地までに障害物がいっぱいあることなのです。勇気を持ってクルー全員で乗り越えるべきハードルが、何台も立ち並んでいるのです。

純粋に夢とプライドのために自己を犠牲にする世界がベストと考えられる者が、真のオアズマンとなり得るのです。「クルー」とは、体重800kgを100kg足らずのシェルに詰め込み、前進させるだけの団体。しかし偉大なクルーには高貴さがみなぎり、風格が備わってくるのです。苦しい練習を積み重ね、大きな犠牲を払い、その結果として奇跡を手に入れて、その奇跡をレース毎に繰り返す。自分の存在で他の7人がより強くなる。その感激は各人に自信を与え、より「完全」に近づける。しかも自分が純粋アマチュアだと確信することでその感激は一層大きくなる。「やりたいからやる」「漕ぎたいから漕ぐ」のであって、この感激以外なんの報酬も求めない。これが「クルーの精神」と考えて欲しい。強い同志社エイト復活の初年度とすべく、1997年度の栄光を目指して、輝け同志社クルー、あつく燃えろ同志社オアズメン、共に精一杯頑張ろう。

コーチ 押領司 哲也

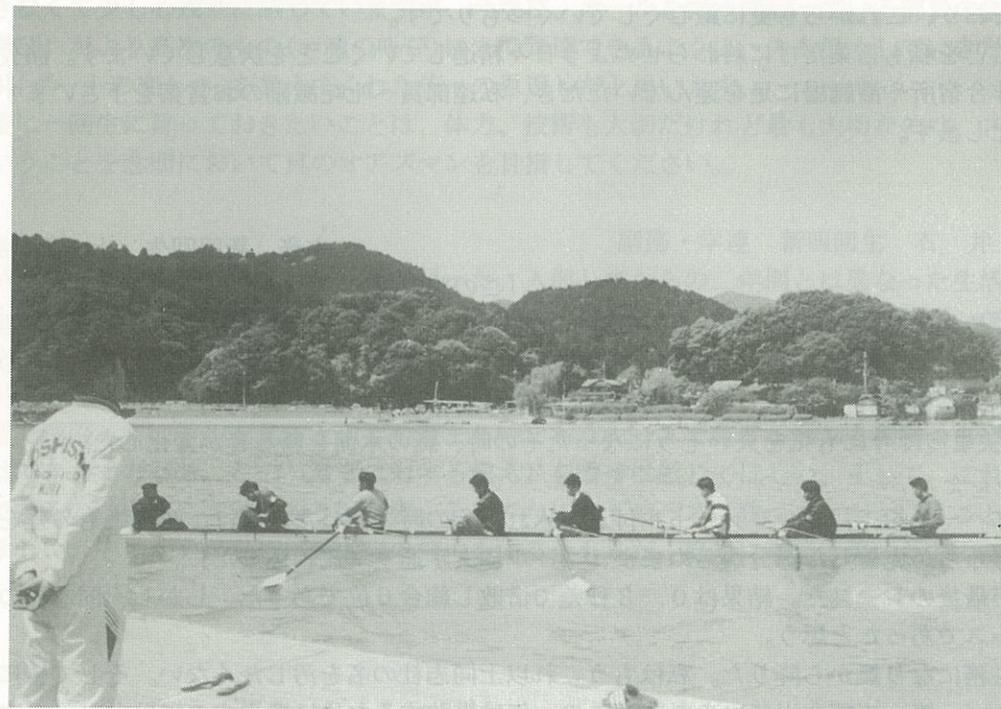
96年Jr. 8+を振り返って

クルー結成が朝日レガッタ後であったので、瀬田川杯優勝とオッ盾メダルを目標とし、練習を組み立てた。6月のJr. 戦で負けクルー内で4+分かれて練習したいという声もあった。しかし、私なりに夏のメドが立っていたのと、8+での漕ぎ込みがまだ足りなかったのもそのまま、瀬田川杯を目指した。多少のシートチェンジと好不調の波はあったが、スクラッチで勝ち負けを繰り返すうちにクルーのまとまりが出始め、一つ目の目標をクリアすることができた。瀬田川杯後は距離克服に主眼を置き、継ぎの目標へ向け戸田へ乗り込んだ。が、結果は一コロ敗コロ。不安のあった絶対的スピード不足(500m、1000mの持ちタイムのないこと。)が予選で出てしまった。勝ちには勝ちの、負けには負けの理由が必ずあります。今一度何が足りなかったのか、自分たちで考えてください。

97年に向かって

とにかく自分たちで考え、取組む癖をつけて下さい。どうすれば、強く速いクルーになれるのか。なぜこの練習をするのか。目標を設定したら、どのようにしてクリアしていくのか・・・etc。

レースで艇を漕ぐのはあなたたち自身です。体育会は結果を出してなんぼの世界です。97年は自分たちの情熱をどれだけボートにぶつけられるか精一杯試して下さい。



朝日レガッタけり出し風景

〈現役部員〉

主将 新四回生 山崎 安雅

97年度の新スタートを切ることができ、本当にうれしく思います。私達同志社大学ボート部員は95、96年と全国はおろか関西地域でも最下層の位置となり、諸先輩方には大変ご心配をおかけしております。私自身も三年間の結果を前に自信を無くしかけていましたが、「この現状から抜け出そう」という部員の声から、もう一度同志社大学エイトの本来の姿を取り戻そうと決意しました。

これまでの具体的な問題としては次の二点が挙げられると思います。第一点は「基礎体力の低下」であります。ボートは体力だけではない、ということは昔から言われているとは思いますが、それ以前に持つべき基礎的な体力の不足までも技術で補おうとした点に問題がありました。第二点目は「精神面の弱さ」であります。勝たねばならぬ、やらねばならぬ、そのような状況に置かれても、ただ漫然と過ごすだけで終えてきたと思うのです。

このような問題を変えていくにはやはり、「一人一人が自覚し、一人一人が考える」ということから始めなければなりません。「やらされている」のではなく、「強くなるために自らやっている」のであります。このことさえできれば、何をするにおいても充実した成果を得て、最終的に部全体を強くすることができます。現在も、私を含めた部員一人一人が自ら積極的な姿勢で練習に取り組んでおり、これからも更に厳しくしていくつもりです。

このことを私も言葉だけに終わらせぬよう日々精進していくことを決意しています。諸先輩方には、是非合宿所や漕艇場に足を運んでいただき、私達部員へ叱咤激励のお言葉を下さいますようお願いいたします。

主務 新四回生 土肥 康治

「この胸の思い」

最初で最後の戸田コース。2ヶ月が経過した今でも、あのレースは鮮明で色あせない。照りつける陽射、ざわめく観衆、そして前を行く慶應の艇。限界に近づく体に乳酸が容赦なく、その量をさらにまして蓄積されていく。「このまま奴等に負けてしまうのか・・・。」

視野が狭まって今にも気を失いそうになったその時、艇の水面を斬る音に変化した。

「シュッ。」

ラストスパートを1、500メートル付近で入れたその時であった。艇は1艇身半もの差を一気に詰め、どちらが先着したか分からぬまま、ゴールに文字通り「流れ込んだ」。

これが最後のレースだ。結果は0.3秒差で惜敗し総合6位であった。しかし、同志社の名に恥じぬレースであったと思う。

今、主務になり艇から降りた。私はもうこれ以上同志社の名を汚したくない。そして皆に勝たせてやりたい。笑って部を出ていきたい。この一年は惜敗するために費やすのではない。「完勝」のために費やすのである。

副将 新四回生 高石 徹

「神明はただ平素の鍛錬に力め戦わずしてすでに勝てる者に勝利の栄冠を授けると同時に、一勝に満足して治平に安ずる者よりただちに之を奪う。」

日露戦争終了後、海軍における連合艦隊解散式の告別の辞の一文である。

この言葉は、あらゆる勝負の世界に生きる者に当てはまると思う。つまり、レースだけが勝負なのではない。むしろ、その勝負の大部分はシーズンオフからレース、スタートにつくまでの長大な時間にあるのである。そう思って、毎日のmotionを大切にしたい。

今年こそ 闘志むき出し 決勝へ

青色オールに 思い託して

副務・会計 新四回生 石橋 欣也

「邂逅」という言葉がありますが、その意味は単に「めぐりあい」「偶然に出会うこと」だけでなく、『人生において、その人の価値観や生き方を変えてしまう程の強烈なインパクトを持つ出会い』であると個人的に思い込んでいます。私にとってはボートとの出会いがまさに「邂逅」であるといえます。ボートは単調でハードな練習が多く、辛いことが強調されがちですが、その反面、ボートでしか得られない喜び昂揚は言葉には言い尽くせません。その喜び、昂揚感はより困難なレベルにおいて勝利するほど、大きなものとなるはずですが、マネージャーとなり、レースに参加することができなくて少し心残りに感じています。今現在、オールを持って闘っている部員の皆の「ボートの喜び」がより高次のもの(=魂の叫び)にまで到達できるように、力を尽くしていきたいです。それが「ボートの楽しさ」を教えてくれた皆への恩返しだと思います。

最後に一回生に言っておきたいことは、体力、技術も大切だけれど最も大切なのは、スピリットだということを念頭において真のオアズマンを目指してください。

副務・学連 新四回生 石井 宏明

私がマネージャーになって約三ヶ月が経った。入部してからの二年間とは異なった生活をしている。十時に消灯があって、早朝に起きるといった基本は変わらないけれど、乗艇や陸トレでしんどい思いをすることはなくなり、代わりに朝食を作ったり、ビデオを撮ったり、事務処理をしたりすることが僕の仕事の中心となった。今ではレジャーとしてしかボートに乗ることはなくなった。漕手が練習で頑張っているのを見ると何だか羨ましい。もうレースで負ける悔しさや勝つ喜びを味わうことはできなくなった。この「漕ぎに対する飢え」を漕手は感じてほしい。そして、これを癒すことができるのは練習に真剣に取り組む姿、そしてなによりレースに勝つことだということを知っていて欲しい。そのために私達は最大限の努力をするつもりだ。絶対に最後は笑いたい！！

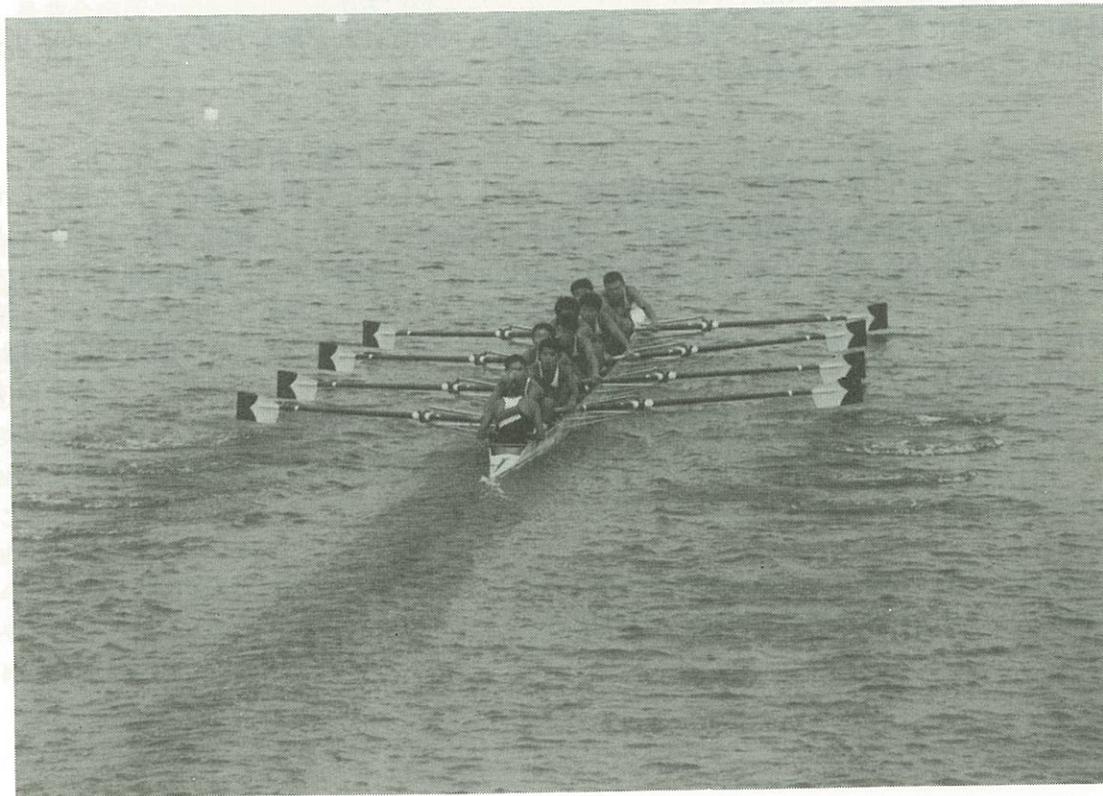
《今シーズンの方針・目標》

・方針 エイト中心 (対校・J r.)

・目標

(対校エイト)

4月		500m	1'25"	コンスタントに出す
5月	朝日レガッタ	1000m	2'55"	
6月	全日本選手権	2000m	6'10"	タイム重視
7月	関西選手権	1500m	4'30"	
8月	全日本大学選手権	2000m	5'58"	決勝進出



《部員紹介》

新四回生



有馬 誠 生
学部：法・法律
出身校：戸畑高校

超足長九州男児。ストサイ、バウサイを両方こなす器用さと、部内トップクラスの漕力を持ち合わせる。何事も自分の力に変える素直な性格。



石井 宏 明
学部：法・法律
出身校：大阪貿易学院高校

外交力と人当たりの良さで学連を勤める。合宿所に不可欠な潤滑油として、また、よく食べよく寝てよく働くマネージャーの鑑。



石橋 欣 也
学部：法・法律
出身校：川和高校

トム・クルーズとも、若き日のデニーロとも呼ばれるナイスガイ会計。いつもニコニコ、しかしやる時はやる体育会根性で漕手の心に火を灯し、共に闘う新型マネージャー。



岩田 勇 人
学部：経済
出身校：滝高校

厚い胸板、太い足の柔軟で強靱な肉体から繰り出される足蹴りはダイナマイト。硬派なところが人気の的。



岡前 秀 彦
学部：文・社会・社会
出身校：同志社香里高校

ポーカーフェイスと鋭い視線でどんな苦しい練習も軽くこなし、持久力抜群。その迫力からは想像できない、心優しきクラシックファン。



徐 東 駿
学部：商
出身校：神戸高校

部内唯一のモーターボート免許取得者。彼独特の理論でボート部を科学的にレベルアップさせる頼れるトレーナー。皆の心を和ませる天賦の才能を持つ。



渋谷 一 郎
学部：経済
出身校：高知追手前高校

水の上でも陸の上でも急成長。他を圧倒する背面筋のそのパワーにテクニックが加わった今、同志社を左右するのはこの男。一人静かにお茶をすすむ姿とは対照的な少年のような心を持つ。



高石 徹
学部：文・文化・文化史
出身校：春日丘高校

熱い心と絶妙の足蹴りで接戦を征した天下一品のcox。頼れる副将であり、その力量はインカレ制覇に欠かせない。



竹野内 直毅
学部：商
出身校：初芝富田林高校

陸上ではクールな2枚目、そして水上では熱い芯のある男。黙々と着実にパワーアップを遂げ、淡々と頂点を狙う。



土肥 康治
学部：工・物質科学
出身校：膳所高校

勉強熱心、仕事熱心。超多忙の工学部ではあるが頼れる主務。意外と照れ屋で感動屋のエンターティナー。



中原 輝宣
学部：商
出身校：洛南高校

二枚目京都人。すました顔でハードなモーションをこなす、実は熱い闘志を胸に秘めた、今年最も期待できる男。



山崎 安雅
学部：商
出身校：美方高校

主将になって更に人格者になった、同志社復活のカギを握る大型強力漕手。自分に厳しく理想は高く、勝利のために妥協は許さず、「常勝」目指す根性派。



和田 大輔
学部：商
出身校：奈良女子大付属高校

COXから漕手に転向し、強力な脚力を武器とする努力家。マイペースで独自の世界を持つ。



高橋 功
学部：文・社会・産業関係
出身校：大谷高校

とにかくこよなくボートを愛している。その情熱にかけては右に出るものはいない、同志社一キャリアの長い男。そして涙もろい人情派。



内藤 竜一
学部：文・社会・社会福祉
出身校：熊本学園大付属高校

ボートと故郷・熊本を愛する明るく素直なオアズマン。不思議と勝ち運のある同志社のさわやかラッキーボーイ。



古川 顕生
学部：工・機械工
出身校：今治北高校

現実直視、確かなボート理論の持ち主。幾度もの手術から立ち直り、筋トレを厭わない信じられない精神力で同志社を引っ張る。



荒川 仁志
学部：文・社会・社会
出身校：清風高校

体育会本部会計としての仕事をこなし、忙しくても自主トレで練習量を補う。スカルで培ったバランス感覚と漕ぎの柔らかさは貴重。ボート部のムードメーカーでもあるこてこて大阪人。



植西 理恵
学部：法・法律
出身校：同志社女子高校

才能、美貌と突っ込みの鋭さで、ボート部の看板娘の地位を確立。思わず会費を払ってしまう小悪魔的魅力を持つ。



小田 恭子
学部：文・国文
出身校：同志社女子高校

女子マネを引っ張るリーダー的存在のしっかり者。どんな仕事も気持ち良く引き受け、部員にかける心遣いは聖母のよう。

新三回生



和泉 智彦
学部：工・物質科学
出身校：基町高校

まるで女性を扱うようなしなやかなローイングが武器のスカラー。ゴリッと漕いでサクッと練習を終えるのが得意。(名付けてゴリッとサクッと作戦)



坂口 健
学部：商
出身校：宇和島東高校

新三回生の黒柱。それだけに体重も重い。ボートで勝つために生まれてきた。(One Purpose)アトム的存在(Doshisha Hero)。最も80's(体重)に近い男が軽重量級(72.5kg)になるための努力を絶やさない!?



林田 直子
学部：文・英文
出身校：同志社高校

優しい眼差しとのんびりした語り口。ほんわかした見た目と裏腹に芯のしっかりしたマネージャー。



玉置 智雄
学部：商
出身校：春日丘高校

考えすぎのオアズマン(しかし、何を考えているかは誰も知らない)。ボートではかなりの強気だが、本当はかなりの弱気。手が器用に動くだけに動きも器用。



網嶋 雄一郎
学部：文・社会・産業関係
出身校：同志社国際高校

ボートと女に対する情熱は誰にも負けない。哲学的理論でボートも女も攻めるが、彼女はいない。スレンダーボディで今日も男どもを魅了する。



寺田 忠 則
学部：文・英文
出身校：同志社国際高校

鋭い口調と鋭いキャッチの二枚刃。アメリカで鍛えたハリウッドスターばりの役者ぶりで自分を隠し、本当の姿を知る者は数少ない。“乗艇は本気、エルゴは役者”



牧之瀬 寛
学部：工・電気工
出身校：清風高校

大好きな〇本以上にボートを愛する男。長期療養から復帰し、活躍が期待される。精神、肉体のタフさは定評あり。



石田 あづさ
学部：文・英文
出身校：三島高校

何でもテキパキ、チャキチャキ大阪人。仕事の速さとつつこみの速さで彼女の右にでる者はいない。

新入部員（新2回生）



亀井 健 治
学部：経済
出身校：明法高校

「スポーツに純粹に打ち込める機会はこれから減っていくと思うので、妥協せずに自分を追い込みたいと思います。」



河野 宏 美
学部：文・英文
出身校：大聖寺高校

「二回生からボート部に入部して、入ってよかったと何度も思いました。ボート部のために私ができることを精一杯頑張っていこうと思います。よろしくお願ひします。」



中島 千 尋
学部：文・英文
出身校：南高校

部員をこよなく愛す部員思いのマネージャー。どんなときも疲れた顔は見せない芯の強さを持っている。元気はつらつ。



大 山 智 司
学部：商
出身校：初芝富田林高校

「僕がボート部に入部したのは6月の末で、同期の中では一番遅かった。その分、他の者より経験も少なく漕ぎもまだまだ未熟である。僕はボートは努力すればするほど上達する競技だと思う。だから努力を惜しまず、他の者に負けないように頑張っていきたい。」



北 谷 充
学部：商
出身校：関西高校

「人とは望むところまで強くなれる。私の一番好きな言葉です。もちろん望むところ、それは・・・。」



小 松 正 彦
学部：工・システム機械
出身校：諏訪清陵高校

「四年間常に上を目指し、ベストを尽くすのみ！！インカレ優勝！！」



高 橋 輝
学部：経済
出身校：同志社国際高校

「大学四年間でどれだけ上達するかわからない。しかし、この4年間で勝つ喜びを知るために、僕は限界に挑む。」



梁 震
学部：工・機械システム工
出身校：国分高校

「千葉県立国分高校からめでたく現役で同志社大学に入学しました。早稲田の理工を受験しましたが落とされたので、ボートで早稲田を倒すことに余念がありません。名門同志社大学の復活を目差して頑張っています。」



若 杉 圭
学部：工・機能分子工
出身校：日大習志野高

「ボート部にはいったからには何らかの結果を出したい。そのためにはいかに集中して練習に取り組めるかが一番大切だと思う。やらされているような受け身の姿勢では絶対にうまくならない。前向きな姿勢で楽しくできるように頑張りたい。」



赤 坂 知 紗
学部：経済
出身校：親和女子高校

「ボートとまったく無縁だった私がマネージャーになって早くも半年たちました。頼りない私はいつも先輩方の働きぶりに感心しています。私も日を重ねるごとに少しずつ近づいていけたらと思っています。ボート部で過ごした4年間で素敵な大学生活の思い出の一つになるよう頑張りたいです。」



殷 麻 衣
学部：商
出身校：親和女子高校

「ボート部に入部して半年近くたち、少しずつ合宿所にも慣れてきました。マネージャーをするのも、体育会に所属するのも初めてで色々な驚きがあります。ボートの競技については全く分かりませんが、少しでも部を支えられるように、自分なりに努力していきたいと思います。」



田中 真由子
学部：経済
出身校：新島学園

「ボート部に入部し、マネージャーとしての自分の未熟さを実感する日々ですが、周りの方々に助けられながら仕事をしています。部員をサポートしていく立場であるマネージャーの役割を

きちんと果たし、4回生になって、ボート部に入って本当によかったと胸をはって言えるよう頑張ります。宜しくお願いします。」



《設備一覧》

艇

シェルエイト

KUWANO	WILD ROVER	10世	
KUWANO	WILD ROVER	11世	1989
KUWANO	WILD ROVER	12世	1989
EMPACHER	WILD ROVER	Shimeta	1992

シェルフオア

KUWANO	バージンプラッシュ		1988
中国製	One Purpose		1995
FILLIPI			1996

ダブルスカル

KUWANO	京都	C-4	1988
KUWANO	京都	C-5	1988

シングルスカル

KUWANO	京都	A-21	
KUWANO	VERITAS LIBERABIT VOS		1987
KUWANO	Rover Mini		1995
KUWANO	Matter horn		1995

救命艇

ヤマハ造船	快風丸		1995
-------	-----	--	------

トレーニング機器

エルゴメーター

コンセプト	モデル-C	4台	1996
-------	-------	----	------

1996年度活動報告

《年間スケジュール》

'95.	9. 28	幹部交代
	9. 29	合宿所入り
	10. 8	京都レガッタ
	10. 20~22	全日本新人選手権競漕大会 ダブルスカル(高橋・内藤)のみ出漕
	10. 29	学内レガッタ
	11. 23~12. 23	クラブバイト期間
	11. 26	HEAD OF THE SETA
	12. 24	京大戦
	12. 27	納会
'96.	1. 2	初漕ぎ
	2. 11	同志社艇友会総会・卒業生送別会
	2. 13~19	シートレース期間
	4. 2~6	オリエンテーション期間 田辺校地にて新入部員の勧誘活動
	4. 14	お花見 (円山公園にて)
	4. 20	新入生歓迎バーベキュー大会
	5. 3~6	朝日レガッタ (於 琵琶湖漕艇場)
	5. 26	新入生歓迎コンパ 新入部員 一回生11名 二回生1名 計12名
	6. 1~2	新人ナックルレガッタ (於 琵琶湖漕艇場) 一回生2クルーが出漕
	6. 23	あみ定杯 同志社大、京都大、立命館大、龍谷大対抗戦
	6. 30	京都府国体予選 (於 琵琶湖漕艇場)
	7. 26~28	関西漕艇選手権大会 (於 琵琶湖漕艇場)
	8. 15~25	戸田合宿
	8. 17	国体近畿ブロック予選 シングルスカル(高橋)が出漕
	8. 22~25	全日本大学選手権大会 オックスフォード盾レガッタ
	8. 23	関東艇友会総会
	8. 25	大会終了後戸田にて解散 1996年シーズン終了

《活動内容》

- ・ 10~11月 小艇に分かれ、HEAD OF THE SETAを目指して技術面中心の練習。
- ・ 12月 対校8+と4+を組んで12月25日の京大対抗戦を目指す。
- ・ 1月(後期テスト期間中) 学校で通い練。週末は乗艇。
- ・ 2月 小艇で練習。
豊田先生(注1)の協力により、メンタルトレーニングを行うようになる。
- ・ 2月中旬 シートレースを行う。(4+・南郷~一号線間・レート20・4セット)
クルー編成(8+・4+・4+・1×・2×)。
- ・ 3月 低レートで漕ぎ込む。
吉満氏(注2)がフィジカルトレーナーに就任。
- ・ 朝日レガッタ 対校8+学生優勝。
- ・ 朝日レガッタ後 シートレースを行い、クルーチェンジ
Jr. 8+を組む。
- ・ 6月 対校8+を4+に分け、国体予選を目指す。
スカルグループシートレース。4×を組む。
- ・ 関西選手権 対校惜敗。
瀬田川杯 Jr. 優勝。
- ・ インカレ オッ盾 対校惜敗。クオドルプル6位入賞。
Jr. 惜敗。

(注1) 豊田 一成氏 滋賀大学教育学部教授
メンタルトレーニング理論の第一人者。

(注2) 吉満 樹氏 DCCスポーツトレーニング
数多くのクラブ・チームをフィジカルコーチとして指導。

《出漕クルー一覧》

全日本新人競漕選手権大会
(ダブルスカル)

S : 高橋 功
B : 内藤 竜一

朝日レガッタ
(エイト)

S 奥 哲史
7 坂口 健
6 中原 輝宣
5 岡 将行
4 伊藤 浩史
3 有馬 誠生
2 内藤 竜一
B 岩田 勇人
C 梅野 孝雄

(フォア)

A : S 渋谷 一郎
3 竹野内直毅
2 山崎 安雅
B 石橋 欣也
C 高石 徹
(シングルスカル)
高橋 功
土肥 康治
袋川 仁志
和田 大輔

B : S 石井 宏明
3 寺田 忠則
2 古川 顕生
B 岡前 秀彦
C 中園 智英
(ダブルスカル)
S 網嶋雄一郎
B 和泉 智彦

あみ定杯

(Jr. エイト)

S 古川 顕生
7 寺田 忠則
6 北谷 充
5 有馬 誠生
4 渋谷 一郎
3 石橋 欣也
2 内藤 竜一
B 岡前 秀彦
C 高石 徹

京都府国体予選

(フォア)

A : S 奥 哲史
3 坂口 健
2 伊藤 浩史
B 岡 将行
C 梅野 孝雄

B : S 中原 輝宣
3 竹野内直毅
2 山崎 安雅
B 岩田 勇人
C 加藤 敬暁

(シングルスカル)

高橋 功

関西選手権

(対校エイト)

S 奥 哲史
7 坂口 健
6 伊藤 浩史
5 岡 将行
4 中原 輝宣
3 竹野内直毅
2 山崎 安雅
B 岩田 勇人
C 梅野 孝雄

(フォア)

A : S B. Klang
3 若杉 圭
2 和泉 智彦
B 亀井 健治
C 加藤 敬暁
B : S 大山 智司
3 梁 震
2 玉置 智雄
B 高橋 輝
C 徐 東駿

(ダブルスカル)

A : S 石井 宏明
B 小松 正彦
B : S 和田 大輔
B 網嶋雄一郎

瀬田川杯

(Jr. エイト)

S 古川 顕生
7 寺田 忠則
6 渋谷 一郎
5 有馬 誠生
4 北谷 充
3 石橋 欣也
2 内藤 竜一
B 岡前 秀彦
C 高石 徹

インカレ

(対校エイト)

S 奥 哲史
7 坂口 健
6 伊藤 浩史
5 岡 将行
4 中原 輝宣
3 竹野内直毅
2 山崎 安雅
B 岩田 勇人
C 梅野 孝雄

(クォドルプル)

S 網嶋雄一郎
3 小松 正彦
2 石井 宏明
B 土肥 康治

(ダブルスカル)

S 和泉 智彦
B 和田 大輔

(シングルスカル)

高橋 功

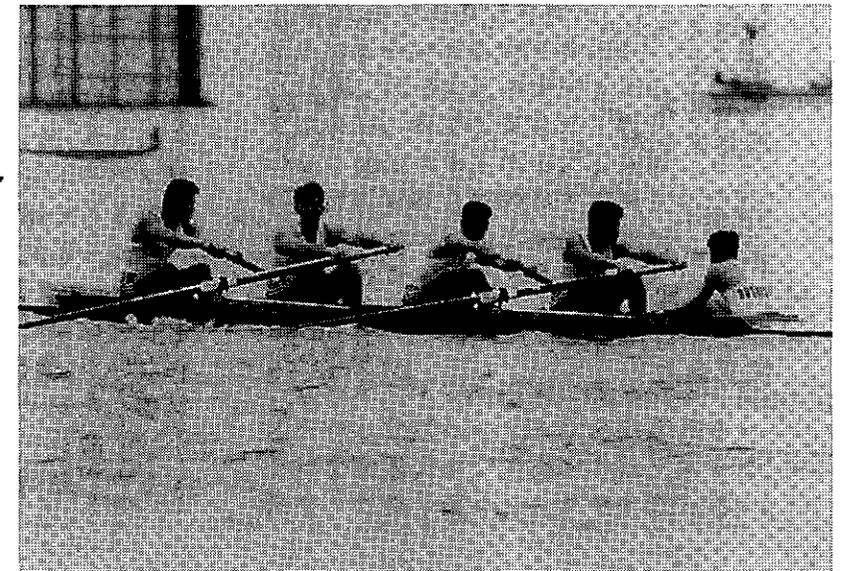
〇×盾

(Jr. エイト)

S 古川 顕生
7 寺田 忠則
6 渋谷 一郎
5 有馬 誠生
4 北谷 充
3 石橋 欣也
2 内藤 竜一
B 岡前 秀彦
C 高石 徹



瀬田川杯優勝クルー
表彰式



朝日レガッタ フォア

《年間成績一覽》

第36回 全日本新人選手権漕大会

1995年10月20・21・22日

於 戸田漕艇場

<男子ダブルスカル>

(予選)

東京医歯大	4	8' 21"07
三洋電機滋賀	1	7' 10"89
同志社大	2	7' 16"33
青山学院大	3	8' 20"39

(敗者復活)

東京工業大	4	7' 57"47
筑波大	2	7' 40"59
同志社大	1	7' 32"96
東京商船大	3	7' 41"27

(準決勝)

法政大B	4	7' 47"49
同志社大	2 (順位決定へ)	7' 15"83
中部電力	1	7' 11"74
早稲田大	3	7' 20"74

(順位決定)

慶應義塾大A	8	7' 57"36
愛川高	7	7' 56"82
同志社大	6	7' 48"82
鹿屋体育大	5	7' 45"63

(決勝)

法政大A	2	7' 51"12
三洋電機滋賀	4	8' 01"43
日本体育大	3	7' 56"08
中部電力	1	7' 42"79

<感想>

ダブルスカル 3回生 内藤 竜一

'95年度を不本意なシーズンのまま終わらせたくなく、我々はスカルのオールを握った。艇はベスポリ艇を借艇した。

予選は戸田とは思えない大荒れの中、三洋電機滋賀とのマッチレースであった。中盤までリードするものの、後半、波にオールをとられる間に逆に差を付けられ敗復へまわった。この結果が最終的に大きな誤算になってしまう。

準決勝、予選トップタイムの中部電力、できればここであたりたくなかった。500mまで何とか食い下がっていたのだが、ミスオールをきっかけにどんどん離される。後半、アウトレーンの早稲田にも追いつめられたが、2位でゴール、順位決定戦へまわることになる。

順位決定戦、決勝に出られない悔しさでいっぱいだった。レースは自分たちが優勢であることもわかっていた。しかし、レース中盤、余裕すらあったのだが、ラスト500を切って相手に引き離される。そのとき、体は急に重くなっていた。結局スパートを入れるも追いつけず2着。結果として総合6位だった。

クルーを組んで1ヶ月という短い練習期間と、スカル競技のプランクを考えるとこの結果はまずまずだったのかもしれないが、僕自身、自分の実力のなさを痛感したレースだった。しかしこの大会が'96'97シーズンを戦っていく上で、とてもいい勉強になったと思っている。

第49回 朝日レガッタ

1996年5月3・4・5・6日

於 琵琶湖漕艇場

<男子エイト>

(予選)

旭水艇友会「魁」	6	3' 14"22
NTT東京	1	2' 53"34
近畿大	3	3' 05"18
千里艇友会	5	3' 11"33
同志社大	2	3' 04"14
摩耶艇友会	4	3' 07"38

(準々決勝)

立命館大	2	3' 06"76
関西学院大	5	3' 13"00
NTT東京	1	2' 59"89
同志社大	3	3' 07"03
疾風	4	3' 10"38

(準決勝)

大阪市立大	4	3' 27"14
同志社大	2	3' 20"61
東レ滋賀	1	3' 14"25
NTT東京	3	3' 25"68
関西大	6	3' 38"36
大阪大	5	3' 33"73

(決勝)

中部電力	3	2' 53"66
東レ滋賀	1	2' 51"27
同志社大	4	3' 02"24
立命館大	6	3' 08"23
NTT東京	2	2' 53"13
京都大	5	3' 02"67

<男子舵手付きフォア>

(予選)

金沢大医王会	棄権	
京都大	4	3' 43"60
陵水艇友会	5	4' 29"55
湖神	3	3' 43"39
岡山大医学部	1	3' 29"43
同志社大艇友会	2	3' 36"42

<感想>

対校エイト 2回生 坂口 健 (予選)

スタートで3位と出遅れたものの、持ち前のコンスタントの強さで近大を差し2位で通過。

(準々決勝)

前日の反省でスタートを声から旗に切り替えたせいかスタートで飛び出すことができた。しかしピッチの上げ下げに戸惑い結局最後まで伸びないまま3位でゴール。

(準決勝)

気合いの入ったレースだった。上位2クルーは圧倒的大差で実業団が並び残り1クルーをかけて、大学4クルーの争いとなった。前日のレースは大学4クルーとともに1秒差以内といった決勝進出をかけた厳しいものであった。天候は予想通り荒れ始め、レースも中断され気合いを維持するのが心配されたが驚くほどの好スタートで500Mでは東レ、NTT東京に1艇身差弱しかなく他の大学もすでに引き離し800M付近では2位のNTT東京をかわして2位でゴール。あのコンディションであのレースはとてつもない自信につながったと思う。

(決勝)

なんととしてでも京大に勝ちたかった。スタートでばたつき5位と出遅れ500Mを通過。コンスタントはリズムに乗り、力強く漕ぐことができたと思う。

滋賀銀行	①	3' 34"49
すはら(愛教大)	5	4' 21"63
同志社大	②	3' 36"62
徳島大	③	3' 44"62
長崎大医学部	棄権	
春叡	4	4' 48"24
(準々決勝)		
同志社大艇友会	3	3' 29"10
金沢大	②	3' 28"33
龍谷大	①	3' 20"93
大阪府立大	4	3' 30"66
西南学院大	5	3' 35"33
同志社大	3	3' 24"10
鳥取大「翔風」	6	3' 29"11
BOMBERS	①	3' 14"78
京阪電鉄	②	3' 23"30
松江高専	4	3' 27"16
徳島大	5	3' 28"23
(決勝)		
上海賽艇隊	1	3' 12"69
名古屋工大	6	3' 27"08
龍谷大	3	3' 17"60
BOMBERS	4	3' 19"44
中部電力	2	3' 16"48
米子漕艇クラブ	5	3' 26"55

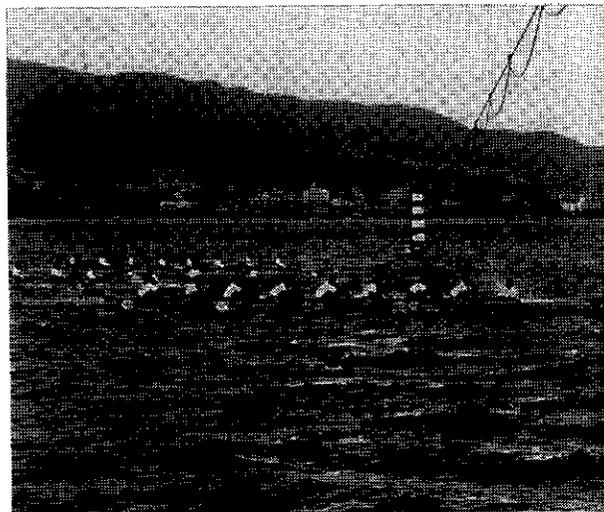
<一般男子ダブルスカル>

(予選)

NTT関西A	①	3' 24"91
太田川BC	4	3' 44"56
甲南大	②	3' 36"25
ぐるくん	6	3' 54"09
滋賀医科大	③	3' 40"79
同志社大	5	3' 50"04

京大がどのあたりを走っているか不安だったが、COXの「ワンシート差」という言葉を信じて蹴りまくった。ラスト100Mぐらいだったと思う。自分の視野の中に京大が入ってきた。とにかく蹴った。2艇並んでのゴールだったらしいが勝ちを確信した。最後の伸びは明らかに京大に勝っていた。

4レースを振り返ってみると、試合を重ねていくにつれて調子が上がっていったように思う。関西学生NO.1は最高だが企業との差はまだ大きすぎると思う。残り3カ月半、死ぬ気で頑張ってインカレで笑えるようにしたい。



朝日レガッタ 対校エイト

(決勝)

瀬田漕艇クC	4	3' 23"74
品川白煉瓦	5	3' 25"45
中国電力	3	3' 23"00
日本大	2	3' 22"52
三洋電機滋賀A	1	3' 19"76
三洋電機滋賀B	6	3' 30"54

<一般男子シングルスカル>

(予選)

江口(龍谷大B)	②	3' 55"44
浅川(同志社大D)	③	3' 56"00
木村(京都大農青会)	4	4' 02"91
小口(東京三菱銀行)	棄権	
駒井(東レ滋賀)	①	3' 34"99
頼田(中国電力A)	4	4' 03"10
三崎(鹿屋体育大)	棄権	
桐山(東レ滋賀)	③	3' 39"53
高橋(同志社大A)	②	3' 38"24
武田(愛媛大)	①	3' 27"29

土肥(同志社大B)	①	3' 45"86
佐野(愛知工大)	5	4' 08"13
木下(京都大)	③	3' 51"11
山口(滋賀医科大)	4	4' 06"29
聚山(龍谷大C)	②	3' 50"77

木村(立命館大)	4	3' 49"13
定野(NTT東京)	5	3' 53"50
岩畔(明治生命)	①	3' 39"43
徳永(三洋電気滋賀)	②	3' 42"81
佐野(愛媛大)	③	3' 48"90
和田(同志社大C)	6	4' 23"29

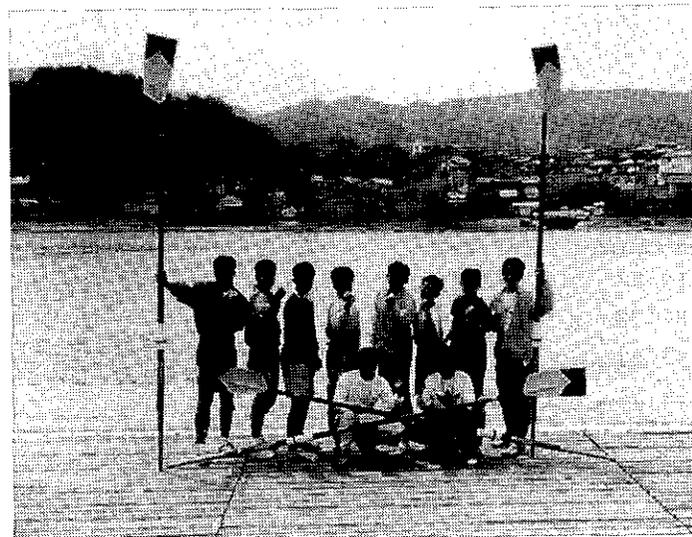
(準々決勝)

宮尾(中部電力岐阜)	4	4' 19"03
土肥(同志社大B)	②	4' 07"23
武田(愛媛大)	①	3' 43"13
徳永(三洋電機滋賀)	3	4' 14"84
相馬(瀬田漕艇クラブ)	5	4' 40"94
松尾(ミスノ)	6	5' 01"56

フォア 3回生 竹野内直毅
初戦、トップをとらなければ決勝進出はない。誰もがそう考えていた。スタートでタイミングを外され最下位からのスタート。波のせいもあり自分たちの力を出しきることはできなかったが2着でゴール。

準々決勝、2着以内に入らねばならないがBOMBERSは確実なので2着ねらい。スタートでやはり出遅れるが最後は予想通り京阪電鉄との勝負となった。残り200M頃からスパートをかけるが差し切れず3着。最後まで力を出しきることができない。無念であった。

堀 (大阪カ)	3	4' 33"04
菅原 (中京大)	2	4' 16"03
高橋 (同志社大)	除外	
西原 (太田川BC)	1	4' 15"03
聚山 (龍谷大)	除外	
柴原 (滋賀銀行)	4	4' 44"48
綾川 (同志社大D)	6	4' 32"58
金山 (神戸大)	3	4' 08"54
松本 (松江RC)	2	4' 07"30
桐山 (東レ滋賀)	5	4' 29"59
宮崎 (NTT関西)	4	4' 28"69
高谷 (瀬田漕艇クラブ)	1	4' 06"16
(準決勝)		
菅原 (中京大)	4	3' 44"96
駒井 (東レ滋賀)	3	3' 43"31
田中 (三洋電機滋賀)	5	3' 52"44
土肥 (同志社大B)	6	4' 00"74
岩畔 (明治生命)	1	3' 40"53
(決勝)		
岩畔 (明治生命)	2	3' 37"01
今村 (龍谷大A)	3	3' 39"07
武田 (愛媛大)	1	3' 31"40
駒井 (東レ滋賀)	4	3' 39"34
西原 (太田川RC)	5	3' 44"99
今村 (龍谷大A)	2	3' 43"08



朝日レガッタ エイト
学生優勝クルー

ダブルスカル 2回生 和泉 智彦
年が明けてすぐに綱島君とダブルスカルを組み4カ月練習して朝日レガッタに臨みました。練習では、一つ課題を克服するとまた新たな課題が生じるといった状況でした。その度に、監督さんや上回生、同回生から色々なアドバイスを頂き、励ましてもらいました。レース当日は、5月特有の荒れたコンディションでした。艇をスタート位置に着けて、さあスタート。スタートで出遅れ他の5クルーに先を行かれてしまい、冷静さを欠いた自分が敗因でした。500M手前で5位となったものの、それ以上コンスタントにも伸びがなくそのままゴール。とても悔しい敗戦でした。
レース後すぐに監督さんや上回生が駆けつけてくれ、すまないと思う気持ちと感謝の気持ちでいっぱいでした。朝日レガッタでは、クルーづくりの難しさ、艇はクルーだけでなくクルーを支えてくれた人たちもが走らせるということを勉強させてもらいました。

関西漕艇選手権大会

1996年7月26・27・28日

於 琵琶湖漕艇場

<男子エイト>

(予選)

九州大	4	5' 04"01
同志社大	3	5' 00"64
大阪大	5	5' 17"31
東レ滋賀	1	4' 50"43
名古屋大	2	4' 59"86
(敗者復活)		
岡山大	3	4' 56"26
関西大	1	4' 46"53
同志社大	4	4' 53"13
関西学院大	2	5' 02"61
(決勝)		
立命館大	4	4' 58"99
京都大	2	4' 42"50
名古屋大	3	4' 57"31
東レ滋賀	1	4' 41"52

<男子ダブルスカル>

(予選)

瀬田漕艇クラブA	2	6' 17"63
大阪大	3	6' 23"72
同志社大A	1	6' 07"88
滋賀医科大A	棄権	
BOMBERS	棄権	

滋賀医科大B	1	6' 09"13
同志社大B	除外	
岐阜大「稲葉」	3	6' 32"67
岡山大医「瑞祥」	2	6' 15"50
神戸大	4	6' 50"03
(敗者復活)		
京都府立医大	4	6' 25"33
清風高	1	5' 54"59
岐阜大	3	6' 12"29
同志社大B	2	6' 18"67

<関西選手権感想>

対校エイト BOW

3回生 岩田 勇人

正直に言ってしまうと、レースの結果については私自身激しく動揺してしまっただけだ。疲れが残っていたとか、朝日のおごりがあったとか考えれば敗因はいくらでもあるだろう。しかし本文を書いているのは8月14日、なんと戸田への出発の前日である。クルーの中に関選の結果が自分たちの実力であると思っているものは一人もいない。こんな無様な結果で終わるようなクルーではないということでは全員が一致した。敗復で徐々に関大に離されていった時、そしてそのままゴールしたとき、情けないことにこみ上げてきたのは負けた悔しさではなかった。こんな中途半端な思いは二度と味わわない。今はそう心に決めている。

<瀬田川杯感想>

Jr. エイト 整調

3回生 古川 顕生

我々Jr.クルーのテーマは、<自滅しないクルー>である。レース本番でいかに力を出し切るかを常に意識して乗艇した。レース前1カ月間は、他大学と時間が合う限り並べ、本番を迎えた。

予選、経験の浅いクルーだけに、緊張の色を隠せない。スタートは70%の出来だが、他のクルーを大きく引き離す。その後も差を開き続け、100

(準決勝)		
同志社大A	2	5' 35"12
立命館大	1	5' 24"30
京都大医	4	5' 45"62
浜寺RCB	3	5' 38"69

同志社大B	5	5' 41"61
滋賀医科大B	4	5' 33"71
甲南大	1	5' 23"54
膳所高A	2	5' 26"16
NTT関西B	3	5' 33"07

(決勝)		
立命館大	3	5' 35"76
NTT関西A	1	5' 28"12
甲南大	4	5' 48"78
中国電力	2	5' 30"94

<男子シングルスカル>

(予選)		
高橋(同志社大)	1	6' 11"34
堤(岡山大)	4	6' 52"02
興木呂(名古屋大)	5	7' 48"87
大島(鳥取大)	3	6' 37"54
吉田(三洋電機滋賀)	2	6' 15"93

(準々決勝)		
カケ場(三洋電機滋賀)	1	6' 36"15
高橋(同志社大)	棄権	
水(長浜農高)	3	6' 43"85
森(瀬田滑艇クラブ)	2	6' 49"67

(決勝)		
吉田(三洋電機滋賀)	2	5' 49"77
今村(龍谷大)	4	6' 02"66
上田(NTT関西)	1	5' 47"57
矢地(中国電力)	3	5' 54"73

mの差をつけてゴール。我々に大きな自信を与えてくれた。

準決勝、敵は関大のみ。予想通りの展開となった。スタートで我々がややリードを奪う。350m地点の足けりで1艇身のリード。それから、つかず離れず1艇身差のままゴール。決勝へと駒を進める。

準決勝の後、艇を上げてから蹴り出すまで約1時間、このあいだトレーナーの吉満さんの指示に従い、体力回復をはかる。我々はほぼベストの状態です。

決勝、不覚にも我々はスタートで出遅れ、先行する2クルーを追う、今までにない展開となる。決勝という舞台のためか、なかなか本来の艇速を出すことができない。しかし、800m地点での2枚蹴り上げで抜群の集中力を見せる。練習中でも出したことのないほどの艇速を生み出し、1000m地点でついにトップに躍り出る。後は、ラストスパートのタイミングを伺いながら、じりじりと差を開いていく。ラスト380mからのスパート、ダブルスパート、調子に乗ってトリプルスパート(特に意味なし)を駆使してゴールへと雪崩こむ。1秒以内に4艇がひしめく接戦を我々は制した。

この勝利は、我々だけでは掴めるものではなかった。私たちが陰で支えてくれたマネージャー、不運にも怪我のため裏方となってくれた部員達、そして、私たちを直接指導して下さった押領司コーチ、その他大勢の人たちに心から感謝します。

瀬田川杯
<男子エイト>

(予選)		
碧青艇友会	5	6' 04"36
山口大「黎明」	4	5' 42"83
近畿大「覇漕会」	3	5' 23"60
白鷗艇友会	2	5' 15"25
同志社大	1	4' 53"13

(準決勝)		
紫紺艇友会	2	4' 51"41
山口大「巖流」	3	4' 55"96
同志社大	1	4' 49"13
京都大B	4	4' 01"64

(決勝)		
神戸大「夏闘会」	2	4' 54"91
名古屋大	3	4' 55"44
大阪大	4	4' 55"75
同志社大	1	4' 54"08
滋賀大経済	5	5' 06"17

<男子舵手付きフォア>

(予選)		
京都大A	1	5' 26"81
岡山大医「迅雷」	2	5' 55"19
同志社大B	4	6' 13"76
山口大「鳳陽」	除外	
岐阜大「伊吹」	3	6' 08"67

同志社大A	4	6' 27"19
広島工大	5	6' 28"90
琉球大「海邦」	3	6' 21"01
名古屋大A	2	6' 04"21
陵水艇友会	1	6' 04"15

(敗者復活)		
同志社大B	4	6' 55"39
膳所高B	1	5' 55"39
鳥取大	2	6' 04"25
白鷗艇友会	3	6' 29"00

フォア(同志社B)整調

1回生 大山 智司
僕がボート部に入部したのは瀬田川杯の1カ月くらい前だった。いきなりフォアに乗せられて、ボートという乗り物は非常にバランスが悪かった。そして瀬田川杯の2週間前にシートが決まり、ぼくは整調をすることになった。しかし、整調は初心者には難しすぎたため、まもなく2番に移り、そのときは残念なような、うれしいような複雑な気持ちだった。そして、キャッチは合わない、レンジは短いという、最悪の状態をレースを迎えた。レースが始まる前、はっきり言って自信が無く、とても不安だったが、とにかく全力で頑張ろうと思った。そしてレースが始まり全力で頑張ったが、1000mほど漕いだ時点で上半身、特に腕がしびれるように疲れてきて、フェザーも返せないくらいだった。やっと1500m漕いだ時には、他の艇はすでにゴールして結果は最下位。でも、この悔しさをバネにして、これから技術・体力を身につけられるように頑張っていきたい。

第22回 全日本大学選手権競漕大会

1996年8月22・23・24・25日

於：戸田漕艇場

<男子エイト>

(予選)

東北大	1	6'01"70
京都大	2	6'06"74
同志社大	4	6'42"33
神戸大	3	6'21"75
(敗者復活)		
龍谷大	5	6'42"33
近畿大	3	6'41"04
京都大	1	6'23"75
神戸大	2	6'34"54
同志社大	4	6'46"54
(決勝)		
慶応大	3	6'29"18
中央大	2	6'26"81
東北大	4	6'32"18
早稲田大	1	6'23"70

<男子クォドルプル>

(予選)

日本大	1	6'24"52
法政大	3	6'52"65
慶応大	5	6'58"75
同志社大	4	6'58"41
早稲田大	2	6'28"53
(敗者復活)		
東京商船大	4	8'05"63
同志社大(順位決定へ)	2	7'30"67
法政大	1	7'18"40
東京大	3	7'44"56
(順位決定)		
東京大	4	7'38"62
同志社大	2	7'08"18
慶応大	1	7'07"84
一橋大	3	7'14"81

対校エイト COX

4回生 梅野孝雄

(予選)

スタートで出遅れる。その焦りもあり、艇速を伸ばす。伸びを感じる事ができずに、徐々に水をあげられ、ゴール。

(敗復)

スタートから500mでトップの京大と1艇身、神戸大と1/3艇身差程度であったが、予選と同じく、漕いだ分しか進まぬ重い艇の伸びで、徐々に水をあげられる。ラスト500mで、力つき結局4着。



クォドルプル レース前

<男子ダブルスカル>

(予選)

日本体育大	1	7'05"37
同志社大	5	7'53"42
東京工業大	4	7'38"93
東北学院大	2	7'12"75
石巻専修大	3	7'26"29
(敗者復活)		
同志社大	4	7'52"86
名古屋大	2	7'22"60
石巻専修大	1	7'20"31
青山学院大	3	7'51"14
(決勝)		
中央大	3	7'23"21
法政大	4	7'24"02
日本大	1	7'12"35
東海大	2	7'21"07

<男子シングルスカル>

(予選)

高橋(同志社大)	2	8'00"28
武田(慶応大)	1	7'27"14
七帖(日体大)	3	8'02"79
富岡(九州大)	5	8'38"14
鈴木(千葉大)	4	8'26"65
(敗者復活)		
太田(創価大)	3	8'40"67
石井(成城大)	2	8'05"42
高橋(同志社大)	1	8'02"10
小澤(東京都立大)	4	8'38"14
高松(大阪工業大)	5	8'26"65
(準決勝)		
高橋(同志社大)	4	8'25"10
八木(東京医科歯科大)	5	8'47"40
武田(慶応大)	1	7'52"20
菅原(中京大)	3	8'17"89
大浦(広島大)	2	8'11"96

クォドルプル 2回生 網嶋 雄一郎

インカレのレースは、かつてない程の興奮を覚えたよいレースだった。これはクルーが一体となり、目標に向かってひたすら突っ走った結果だと思う。レース2週間前にはクルーの変更、そして1週間前には石井さんが腰を痛めるという散々な状態で臨んだレースだった。予選では関東を代表するクルーとあたり実力の差を見せつけられ、敗者復活戦では予想外の差をつけられて2着。それでも参加クルーが少ないこともあり、最終日の順位決定まで残ることができた。しかも順位決定のレースがオッ盾エイトの決勝の前という最高の環境での最終日だった。その環境の中で慶應義塾大と最高のレースができたと思う。結果は負けだがクルーとしては一番良い漕ぎが一番目標としていたレースでできた。

しかし負けは負け。クソッ くやしい クヤシイ 悔しい。

<オッ盾感想>

Jr. エイト 3回生 岡前 秀彦
瀬田杯で優勝し、自信をつけたJr.クルーは、今シーズンの最終目標としていたオッ盾もいけるぞといった感じであった。瀬田杯後も調子は悪くなく、京大をはじめ、他大学と何回か並べたが、そのほとんどで勝利を納め、自信を持って最高の状態で瀬田を去ることができた。

そして8月15日に戸田入りした我々であったが、戸田で初めて漕ぐ者が私も含めて5人もいたこと、瀬田との水の違い、緊張感のある独特の雰囲気などが影響してか、艇がなかなか走らない。それでも、試合2日前位から

(決勝)

田伏(慶応大)	4	8' 01"85
沖田(日本大)	2	7' 56"31
武田(愛媛大)	1	7' 44"09
川原(中央大)	3	8' 01"61

第36回オックスフォード盾レガッタ
8月24・25日

<男子エイト>

(予選)

同志社大	2	6' 39"74
成城大	4	6' 56"59
庄内川クラブ	5	7' 21"50
山口大	3	6' 40"41
関西大	1	6' 23"97

(敗者復活)

岡山大	3	7' 06"23
住友金属「鉄っ子」	1	6' 48"39
同志社大	2	7' 00"73

(決勝)

東京大A	4	6' 41"76
BOMBERS	3	6' 28"93
中部電力	2	6' 27"76
NTT東京	1	6' 12"68

ブレードワークも揃いはじめ、まずまずの状態の本番に臨むことになった。

<オッ盾予選>

レースは5艇、組み合わせ的には勝てると思っていた。そして本番、スタートでいきなり関大にでられ、それを追う展開となる。途中足蹴りをいれるが、差は縮まらず、逆に開いていき、そのまま2位でゴール。準決に上がれることを確信していただけに、この負けは大きく、敗復に回ることになる。

<オッ盾敗復>

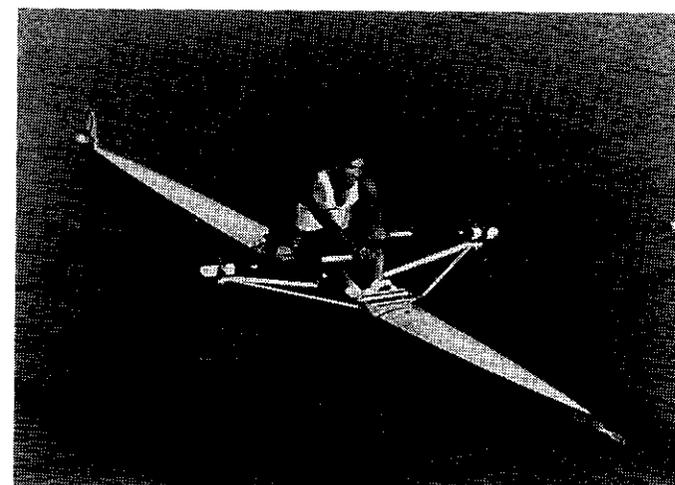
岡山大、鉄っ子との3艇レース。社会人の鉄っ子とは力の差があることはわかっていたので、スタートから全力でとばしていった。途中1000m付近までは何とかついていったが、それ以降は徐々に差を開けられ、スパートも及ばず2位でゴール。

<感想>

結果としては、準決勝にあがることはできなかったが、Jr.クルーは全員が3年生以下であり、この悔しい思いを来年以降につなげていけるであろう。また私個人としては今シーズンについては7割方満足している。来年はこれを10割にするために、瀬田ではなく戸田で決勝の舞台に立ちたいと思う気持ちでいっぱいである。



インカレ 対校エイト



インカレ
シングルスカル
(高橋)



オッ盾 Jr.エイト

《会計報告》

1996年度収支決算書

支 出			収 入		
勘 定 科 目	金 額	勘 定 科 目	金 額		
維持費	2,584,702	前期繰越金	18,741		
通信費	417,311	学友会預託金	1,092,000		
練習費	336,261	部費	136,800		
消耗品費	90,855	入部金	33,000		
器備品費	2,988,736	個人負担金	12,691,200		
資材費	116,873	受取利息	341		
事務費	13,372	特別収入	2,027,382		
用具購入費	1,097,237	学生部補助金	500,000		
特別支出	381,756	寄付金	2,500,000		
遠征費	1,730,869				
交通費	226,150				
連盟費	123,000				
試合費	454,301				
情報費	12,000				
記念費	598,535				
分担支出	81,500				
渉外費	13,590				
合宿費	7,220,709				
次期繰越金	11,707				
合 計	18,999,464	合 計	18,999,464		

卒業生のことば



前主将 伊藤 浩史

4年間を振り返ったり反省したり書いたりするつもりは少しもない。ただ結果だけを見れば、残念で仕方がない。後輩に言い残したいのは、自分で思った道を進んでもらいたい。そして、自分で納得のいくボート部での4年間にして欲しいと思う。

失敗をおそれるな 周りの雑音も気にするな 自分の決めた道を進んでくれ



前主務 中園 智英

今、卒業論文をやりながら書いている。学生らしいことを最後になってしているみたいだ。八月のあつい時期に引退してからは、気温と共に、ボート部に対する意識も薄れていくようだった。時期を同じくして、だんだんと自分が何をしたらいいのかが分からなかった。学校が始まり、あいにく私は卒業論文を作成しなくてはならぬ、『目的・目標』が見つかった。

ボート部に入るきっかけとして、求めたものは『日本一』という目標だった。中学・高校と陸上ではそこそこでしかなかった自分を変えたいという思いがあった。入部してからは部の成績はもちろん、自分自身においても当初の目的は果たせなかった。

現役の皆は、その『目標』というものが叶えられる位置にまだいます。どうか今の1motion、1回を大切にしてもらいたい。特に新4回生はもう1年もありません。自分たちの道を信じて進んでいって下さい。そして新3・2回生は、上回生をしっかりと観て、自分のものにして下さい。また、マネージャーの皆は、選手を信じてついていって下さい。最後に選手と笑う日を願って。

最後に、浩史、岡、奥、英、梅、森本、関根、尾島へ心からありがとうと言いたいです。皆に感謝しています。そして、アメリカにいるBen、元気になっていますか？



前副将 岡 将行

大学入学と共にボート部に入部し4年間を過ごしたが、多大なる成長を実感できたことに幸せを感じている。

私のクラブ人生と少しの勉強・就職活動など、様々な経験を通して得たものから最後の言葉にしたい。

クラブを大木にたとえた場合、結果というものは単なる枝葉や花に過ぎない。大木というからにはその支えとなる幹や根が重要となってくる。当然のことながら、きれいな花は周りの誰からも賞

贅を浴びるものであり、部員一人一人が常に目指しているものである。しかし、立派な幹・根がない大木には立派な花は期待できない。では、幹や根にあたるものは何かというと、「過程」である自分がどんな姿勢で、何を目標として取り組んでいるかということが最重要なのである。

自分で自分を信じ、そして、みんなを信じ、一人一人が大木となるように自己成長を果たして欲しい。とにかく前を向いて進み、気がつけば「優勝」という文字と肩を組んで酒でも飲めたら理想なのである。

最後に97年度のクルーには活躍を期待している。頑張ってくれ！！



前副務・会計 齊木 英人

ボート部を引退して数ヶ月が経過した。今の自分には心にゆとりがあり伸び伸びしていると感ずる。

一つのことを成し得るのは、深い海をひたすらに潜り続けるようなものであると自分は考えている。もちろん、その海がどれほどの深さがあるかなどわかりはしないわけで、又、様々な困難や障害が待ち受けている。しかも、途中で諦めてしまったらそれで終わり、成し得ることはできない。

自分は、途中で諦めてしまった一人かもしれない。潜り続けなければならないことも、様々な障害があることも分かっていたにも関わらずできなかった。高校時代に一度経験したのにどうしてうなってしまったのかと苦しみ続けた。

今は、又、何かに挑戦してみたい。



前副務・学連 奥 哲史

ボート部を去って、早くも三ヶ月が経った。今振り返って、自分の大学生活はボートが全てだとつくづく感じる。引退してからは、もっとまじめに学校に行っておけば良かったと思うことがあるが、それ以上に、あれほど一つのことに夢中になり、情熱を注ぎ込むことができたことをとてもうれしく、そして誇りに感じている。

「オール一枚引ききること」。他人から観ればどうでもいいことに三年半ずっとこだわってきた。私は元来不器用なたちで、同じクルーになった先輩の方々や仲間にはいつも迷惑ばかりかかっていた。艇の上では悔しい思いばかりしていたので、陸上では負けないぞと、陸トレに必死に打ち込んだ時期もあった。だから対校エイトの整調として朝日で四位に入ったときはうれしかった。自信もついた。(関東、インカレと負けてしまったが・・・)

主将部屋のベッドに代々の主将が言葉を残している。その中で私は堀内さんの言葉が好きだった。「追い求めるのはそう決めたからだ

決めたからにはやるしかない」

私はこの四月から社会人となるが、いつまでもこの心境で何事にも取り組んでいきたいと思っている。



梅野 孝雄

同志社大学生だから、エライのではなく、
体育会ボート部員だからスゴイのではなく、
内定先の会社が大きいからリッチなのではない。
男として、女として、人間として、全ての所属から離れたときに、自分に何が残るのか、何ができるのか。

うわべだけでない、芯なるところで自信を持ちたい。
現役部員には、もって欲しいと思う、二月中旬の今日この頃。



森本 周子

今、私がつくづくと感じているのは、「人はどんなに苦しくても目標に向かって努力している時が一番幸せなのだ」ということです。

クラブを引退し、受験勉強も終えた私は今、時間に追われることなく毎日のんびりと暮らしています。常に時間と闘いながら必死で走り続けてきたこれまでの4年間とはまったく対照的な毎日です。しかし、私はどこか物足りなさを感じつつ、早起きして石山駅へ通った日々を懐かしく思い出しています。

これまでの4年間を振り返ると、確かに苦しい事や辛いこともたくさんありました。しかし、どんなに苦しくても「自分に負けまい」と頑張り続けたこの4年間は、私の人生の中で最も輝かしい幸せな時間だったと思います。

現役部員そしてマネージャーの皆さん。ボート部の勝利という目標に向かってまだまだ現役で頑張ることのできる皆さんを、私はとてもうらやましく思います。今しかない時間を大切に、必ず目標を達成してください。

最後になりましたが、お世話になったOBの方々、後輩の皆さんそして4年間支え合い励ましあいながらともに頑張ってきた同回のみみんなに心から感謝したいと思います。私は、このボート部でたくさんの素晴らしい人に出会えて幸せでした。本当に、ありがとうございました。



尾島 綾子

光陰矢の如しとは正によく言ったもので、同志社大学ボート部で過ごした私の三年半は嵐のように駆け抜けていきました。

全てものが新鮮で発見の連続だった一回生。
後輩もでき自分の居場所を探し始めた二回生。
具体的な仕事を任せられ、そのおもしろさを知った三回生。
そして、最上回生という重みに一喜一憂し続けていた四回生。

今、振り返れば全てが良き経験で佳き思い出です。中でも、私の将来にまで影響を与えた広報という仕事に出会えたことは、本当に幸運に思っています。多くの方々の協力の下に物事が成り立っているのだということを改めて思い知ることができました。この場を借りまして、力漕第三号発行にご協力下さいました先輩方にお礼を申し上げます。

最後になりましたが、頼りない私達三人についてきてくれた後輩たち、そして、共に泣いたり笑ったり、時にはケンカしたりした同回のみんな。私を支えてくれた全ての人々に感謝しています。ありがとうございました。



関根 佐和子

一回生の時、部員の練習を見学させてもらったことがあります。皆勝利を目指し、ひたすら努力されていました。私はマネージャーとして選手に接するのが恐くなりました。同回も。次の年からは後輩も。私に部員のために何が出来るというのだろう。やらなければならないことは、いくらでも探し出せましたが、合宿所にいない時もクラブの事を考えるようになって、私は不完全なものしか提供出来ませんでした。ある時、次の一步が踏み出せなくなりました。同回の励まし、先輩方の熱い言葉に元気は出たのですが、自分の能力を真正面から見つめる事が辛く、選手の目の前に出る事がこわくなった時もありました。けれど今、皆私をボート部の一員として見続けてくれていたことを思いおこし、感謝しています。ここでの経験が社会人になっても生かされる事と確信しています。最後になりましたが、私の面倒を直接的、間接的に見て下さった諸先輩方、有難うございました。



お知らせ

《ご結婚》

昭和61年卒	谷川 真司 先輩
昭和63年卒	原 一雅 先輩
平成元年卒	大島 昭子 先輩 (旧姓 桜井)
平成6年卒	松城 敬 先輩
平成7年卒	井ノ口 智香 先輩 (旧姓 柏木)

《お悔やみ》

昭和25年卒	亀井 量太 先輩
--------	----------

《伝言板》

最近脚が悪く病院通いを続けています。戸田のレースも東京の先輩方との集まりも欠席しています。ここに改めまして、お詫び申し上げます。

状態ですが、乾正治君や高橋宗君には時折電話、手紙で連絡あります。

最近の母校ボートの不振には一抹の淋しさを感じます。練習、練習、もっと頑張れ！

昭和13年卒 松川 寿久 先輩

何くそ という気持ち鍛えてほしい。

昭和16年卒 吉年 晃 先輩

私、小学校、中学校と体重70Kの肥満児でしたが、同志社大学予科に入学、ボート部に籍をき、あの激しいボートの練習をするうちに段々と肥満も解消し、筋肉質の立派な体に変身し、体力も充実し、同志社を卒業して社会人になっても体力、気力にものをいわせてそれ相当に会社貢献する事が出来ました。これもボート部に籍を置き心身を鍛えたお陰と感謝しております。どうか後輩のボート部の皆様も心身を鍛えて頑張ってください。

昭和17年卒 榎坂 景次 先輩

戦後（第2次世界大戦）私達がボートをやっている時は、対戦相手と申しますと京大・関大・商大ぐらいしかなく、立命も創設時でした。今は数多くの対抗相手が在ると思いますが、当時は我こそ関西ボート界の第一人者との自負のもと頑張りました。食糧難もあり、その為合宿生活もとは違った思い出があります。今のボート界の事はトント不案内ですが、常に伝統ある吾我の自をもって頑張ってください。とりとめのないお話ですが、益々のご発展を心より念じます。四方平井さん等も多分同じ思いであると存じます。高橋宗大先輩も私達以上と思います。

昭和25年卒 山田 昭児 先輩

来る来る怒涛乗り越えてボート情報本年も有難う。

トシをとってはボートは乗れない覚悟で今こがないと、青春の一時無我無心、体力、気力で全エネルギー燃焼、命イッパイ心身の鍛練祈ります。

昭和26年卒 清水 裕 先輩

関東艇友会も、会員が約100名。毎年8月末のインカレ期間中の金曜日の夜に銀座で総会を開く。総会といっても、しゃぶしゃぶ食い放題の飲み会である。何も暑い盛りに、しゃぶしゃぶかとの批判もあるが、そこは会計の都合もあり、全員汗をかきかき笑顔の総会になる。加えて、サントリの植野・荻野両君がウイスキーをドサッと持ち込んでくれるから、飲み放題でもある。6時半開予定だが、集合が少々雑だから、集ったものから口を潤し始め、7割方集ったところで乾杯。試を終わって馳せ参じて下さった部長先生や、監督、現役が加わってまた乾杯。老若OBがいらまって、若き日を語り、今を語り、時間もたっぷり楽しくやっている。力漕の紙面をお借りして、まりお見えにならない方々に気楽な参加を希望し、拙文を寄せさせて頂いた次第。

昭和31年卒 岩波 春喜 先輩

艇友先輩兄弟へ 「同志社ローイング百年」よりもう5年経ちました。その節にはご尽力、ご協力頂誠に有難うございました。小生の至らなさ、力不足を反省し、慙愧の念、自責の念で一杯です。ここに改めまして、お詫び申し上げます。

「変わるもの、変わらぬものを、さながらに見究めつつものどかなからん」

変わるもの、変わらぬ又は変わってはならぬローイング理念とは何か、考えております。

オールを手放してから、インビジブル・オールで人生航路を漕ぎぬかれた理念は何か、その一端にても、次年「力漕」にご教示下さい。

昭和35年卒 佐野 閔一 先輩

全国大会で活躍して頂かないと東京ではほとんど新聞記事にも掲載されませんので、非常にさびしい昨今です。

「同志社ここにあり」を期待しておりますので、ぜひその雄姿を見せてください。

昭和38年卒 路次 二郎 先輩

現役諸君の奮起に期待する！

このところの同志社クルーの成績の低迷を見るにつけ、先輩の一人として大いに不満が残ります。いやしくも大学スポーツクラブとしての体育会に所属するボート部に自らの夢を果たすべく入部された諸君であるはず。OB会としての艇友会の支援にも不十分なものもあろうが、いかにしてボートを走らせるのかは現役の諸君自らが中心となって考えていかなければならないテーマです。主務・主将が自らの置かれている立場をよく認識して、自らが先頭に立って部員をひっぱっていつてもらいたい。

船の上でのハーモニーだけを考える前に、整えておくべき丘の上のハーモニーが出来れば問題の半分以上が片付いたと気が付かれるでしょう。

成果は必ず後から付いてきます。「4年間」でしか経験出来ない人生の「宝さがし」に挑戦されるんことを期待しています。

昭和38年卒 西村 泰夫 先輩

I wish you happy rowing life!

力漕！！

昭和39年卒 池畑 勇 先輩

最近のボート考

日本のボートほど不思議なスポーツはないのではないのでしょうか。条件は色々変わりますが、各種目ともタイムがまったく30年前と変わらないという事です。タイムを競う競技ではありませんが、新しい事への挑戦を願っています。

昭和39年卒 中原 克己 先輩

10月20日に行われた衆議院選挙に、私は奈良一区から自由民主党公認で立候補致しました。残念ながら次点で涙をのんだわけですが、艇友会の皆様や現役の諸君にまでいろいろとご迷惑をかけし、心から御礼を申し上げます。もう一度チャレンジすべく充電して頑張りますのでよろしく

昭和41年卒 森岡正宏 先輩

「宮地。梅田。どないしとんねん」

「いっぺん、電話くれや。」

「会社：03-5210-3826です。」

昭和50年卒 植野誠之 先輩

“現役部員・我が後輩達よ”

卒業して20年もなるOBのメッセージがどこまで現役諸君のハートに響くかわからないが、方は今だ現役の感覚が全身に残っています。

①「勝ちたい」と思うなら、「勝つこと」を目標にするのなら、負けた年度と同じ考え方で、同じ練習の量・質では勝てるはずがない。スポーツ界広しといえども、そんな話は聞いたことがない。

現役諸君は、新年度を迎えどのような反省をし、他の強さの中身を知り、どのような自らの目標を設定し、そして、どのような今までにない工夫と努力をしていこうとしているのか。勝利の道程において、このプロセスは欠かせない。

②熱い気持ちで声援を送っているOBは現役の「勝ち・負け」にこだわっている。それは、当然のことだ。子どもの運動会に行き、「ビリでも良いからとにかく元気であれば」と願っている親は少ない。

しかし、現役は「タイム」にこだわるべきだ。「タイム」へのこだわり、目標が500m、1,000m、2000mのタイム目標を月別に設定して、全員が同じ目標に集中して練習をして欲しい。

③弱者が強くなる時、そこには必ず共通したことがある。それは、「絞り込み」と「集中化」だ。あれもこれもと目標を設定したり、手を広げるのではなく、

「これだけは必ず〇〇〇までやりとげる」、「〇〇〇だけは絶対に他大学に負けてない」というように、シンプルに他に絶対に負けないポイント、いわば、同志社の強みを創るためのプロセス目標を作り、全員が集中すれば良いと思う。

“現役マネージャー諸君”

現役時代2年間のマネージャー経験から以下のことを伝えたい。

強いクラブを作らないと早い艇は生まれない。強いクラブは漕手が作るのではなく、マネージャーが創るもので、マネージャーにしか作れないものです。キャプテンは、その年々いかに早い艇（クルー）を作るしか考えられない。しかし、マネージャーは継続的に強いクラブであるための組みを作っている視野が持て、また、そこに時間をかけることが出来る。

(強いクラブとは毎年決勝進出が可能な力をもちつづけるというイメージです。)

①漕手として強力な人材を豊富にあつめること

- ・頭数を集めるのではなく、人材を集めること
- ・推薦制度、高校との関係強化、一般入学生への訴求
- ・体格の大きい人だけが人材ではない

かつて、東大の軽量クルー（エイト）でも日本一（6分）になっている。

・体格、筋力は最低限（一定の水準）は必要だが、そこから先は運動神経、ファイティングスピリット、センスという切り口で漕手（特に対校）をピックアップしていく必要がある

②金を集めること

・金がなければ何もできない

・金は仕組みと気持ちであつめるもの。仕組みとは艇友会のこと。艇友会の組織、キーマンにもっと働きかけて年々の集金額をもっと上げること。毎年チャンスロスが大きい。

・しかし、全てのOBが気持ちよく払っているわけではない。現役の声や状況を聞けば「よしよし」と払ってくれる人も多い。また、そういうOBとのコミュニケーションは、将来社会人となったとき、君達の大きな財産となっている。

③科学の追求

・艇、オール、練習方法、全てボートはサイエンスだ

・ボート界の最新情報を入手する仕組み、関係を作ることが重要

・また、最新のものが全て同志社にフィットするとは限らない

導入はしても、その検証をしていくことが重要だ

※ 今のマネージャー体制は、上記のような視点で体制が組まれているだろうか。クラブの目標は「漕手が〇〇試合に勝つ」ということだけであってはいけない。マネージャーには、マネージャーの大きな広い視野に立ったクラブそのものへの目標を作る必要がある。

こうした“漕手の努力”“マネージャーの働き”“監督・コーチの指導”が一体化し、そして熱き思いのOBの有形・無形の支援が継続的になされることによって、同志社のボートはもっと強くなっていくと確信しています。

現役諸君、プロセス目標を明確にしよう、集中しよう、そして全てをやり切ろう。

昭和52年卒 萩野義明 先輩

・最近活躍している場がなく、大変残念。

・全学・オッ盾の決勝戦に参戦出来るよう大いに奮起して頂きたい。必ず応援に行きます。

昭和57年卒 森保二 先輩

現役の皆様、体況はいかがでしょう？

同志社ボート部卒業後はや10数年。「光陰矢のごとし」です。

お蔭様で、私の人生の中で同志社ボート部ですごした4年間が、誇りとなって息づいております。皆様へ感謝いたします。

昭和58年卒 武田泰一 先輩

8月に後悔しないように頑張ってください。

昭和59年卒 谷口幸一 先輩

3月から名実ともに、ハウスメーカー（の部）に移りました。

予定のある方、一声かけてください。

昭和62年卒 屋久浩典 先輩

6/23/96に結婚いたしました。お近くに来られたらお立ち寄りください。

【新住所】〒112

東京都文京区音羽2-9-4-601 TEL(03)5976-3858

昭和61年卒 谷川真司 先輩

やっと結婚できました。

平成元年卒 大島昭子 先輩
(旧姓 櫻井)

「古豪復活か」と、新生同志社が関東勢の度肝を抜いたのは1989年の夏だったのでしょうか。イカレ・全日本共に4位という輝かしい成績にも拘わらず、たくさんの悔し涙があったこと、未だ忘れられません。

勝ちたい……。一度でいい。勝利して、歓喜の血潮に溺れ、両手を一杯に広げて、思いっきり天に向けて叫びたい……。

心と身を、木端微塵にやられた奴ですが、まだそんなことをそっと夢見ています。

**は一日にしてならず、何とやら。?

ともあれ、喰って喰って寝て喰って、笑って、怒って、恋して泣いて……。エネルギーの限りを尽くされますよう！同志社CREWを応援しています。また、艇友会の今後益々の発展を祈ります。

以上

平成2年卒 喜多隆博 先輩

卒業して5年の歳月が過ぎました。この間私は4回戸田に足を運んでおりますが、今だ対校クルーのレースを1度も見ておりません。

今だにボートの夢を見る自分を、そしていつも負けたレースの夢を見る自分を、この狂喜の世界から抜け出させて頂きたいものです。

それと、平成3年度の対校クルーのメンバーは必ず艇友会費を払うように。

平成4年卒 功力英俊 先輩

毎日練習ご苦労様です。

現役の皆さんには、また寒い季節がやってきますが、マネージャーの手料理で体力upして、ンカレまで頑張ってください。

平成6年卒 木内良典 先輩

東京では数少ない同志社OBとして、母校の戸田での活躍を期待して居ります。頑張ってください。

平成6年卒 竹内秀暢 先輩

※以下の文章は、平成6年卒の押領寺先輩にお願いして集めていただいたメッセージです。
押領寺先輩ありがとうございました。

去る1996年12月21日(土)に、松城敬(H6年卒)君の結婚式が母校同志社のチャペルで行われました。好天に恵まれ、親戚の方やたくさんの友人たちに祝福され、いつもの笑顔がよりいっそう輝いていました。私たち同期も一年ぶりに集合し、近況報告や昔話で盛り上がりました。松城君、真和子さん本当におめでとうございました。幸せな家庭をお築き下さい。

同期からの祝福のメッセージ

松城、結婚おめでとう。東京に出張する際は連絡するのでその時はぜひよろしく。二人の未来へ乾杯!!

木内 良典

結婚おめでとう。式に出られずとても残念だったけれど、また、東京の家に遊びに行かせてもらいますわ。その時はよろしく!

竹内 秀暢

本当にお似合いの二人だと思います。みていてこっちがホッとする感じがします。どうぞおしあわせに。

田村麻理子

やっぱり、私より先に結婚したわねえ。暖かい家庭を築かれることをお祈りいたします。

余谷有紀枝

おめでとうございます。横山元監督のお言葉が身にしみたのは松城君だけではありません。と思います。お幸せに……。

北尾 冬子

おめでとう! すごくかわいらしいお嫁さんですね。私も早くそうなれるよう努力します。お幸せに。

堀 智子

松城。食い過ぎには気をつけろ。真和子さん。喰わせ過ぎには気をつけて。

喜多 栄太

おめでとう。ボート漕いでるときはいろいろご迷惑をおかけしました。また、相談に乗って下さい。お幸せに。

藤井 啓宏

ご結婚おめでとうございます。松城は「ほんまにええやつや」というのがぴったり当てはまる同期でした。「変わらないことは変えていくことよりもむずかしい」といいます。いつまでも変わらない松城でいて下さい。

堀内 昭宏

ご結婚おめでとうございます。貴殿の素早い行動には驚きました。これからも末永くお幸せにお過ごし下さい。

中澤 郁男

ご結婚おめでとうございます。幸せな生活をお過ごし下さい。

中西 孝夫

結婚おめでとう。いつものスマイルとパワーで幸せな家庭を築いて下さい。

早坂 真一

一緒に生活していると今まで見えなかったことがたくさん見えてきます。新しい自分たちを発見あつて下さい。

押領司 哲也

※住所等の変更

平成元年卒 関谷 晴彦 先輩

【自宅】 TEL (052) 362-3277

平成3年卒 杉山 伸 先輩

【自宅】 〒630-02

奈良県生駒市老分町515-2 ベルコート東生駒A-101

TEL (07437) 6-1433

平成6年卒 木内 良典 先輩

【自宅】 和泉市緑ヶ丘2-13-22

【勤務先】 大阪市北区堂島浜2-2-28 堂島アクシスビル9階 大日本印刷(株) F D

事業部

TEL (06) 347-8652

名 簿

役員名	氏 名	職 務	住 所	TEL
部長	岡本 博 公	535	大阪市旭区新森4丁目6番16号	06-955-3633 研究室 075-463-3706
総監督	四方 久 男	602	京都市上京区六軒町通り出水上ル七番町314番地	075-463-6948
監督補佐	田中 重次郎	531	大阪市北区大淀中1-12-7	06-453-9150
コーチ	押領司 哲也	512	京都市伏見区向島津田町2番地 ミリオンマンション2-E	075-603-6601

《 卒 業 生 》

氏 名	出身校	現住所・帰省先	TEL
伊藤 浩史 (商)	岡谷南	本田技研工業(株) (帰)〒391 長野県茅野市宮川7459-54	0266-73-0231
奥 哲史 (文・社会・社会福祉)	池田	住友金属鉱山(株) (帰)〒563-01 大阪府豊能郡能勢町下田尻277	0727-37-1243
青木 英人 (I・E・M)	瀬戸西	三菱電機ビルテクノサービス(株) (帰)〒489 愛知県瀬戸市八幡台7-151	0561-84-4335
梅野 孝雄 (法・法律)	同志社香里	帝国石油(株) (帰)〒614 京都府八幡市橋本栗ヶ谷42-16	075-983-0879
岡 将行 (文・英文)	阿武野	(株)ミズノ (帰)〒569 大阪府高槻市川西町1-12-6	0726-83-8663
中園 智英 (文・文化・心理)	同志社香里	東急スポーツ(株) (帰)〒618 大阪府三島郡島本町青葉1-15-22	075-961-5390
森本 周子 (法・法律)	同志社	カナダ留学 3121 Duchess Avenue North Vancouver, B.C. (H 9. 7月まで) V7k 3B7 Cathy&David Crawford. (帰)〒554 大阪市此花区梅花3-30-2	06-463-5298
関根 佐和子 (法・法律)	同志社	(株)NTT (帰)〒631 奈良市神功一丁目4-37	0742-72-0528
尾島 綾子 (同女・英文)	米子西	山陰放送(株) (帰)〒689-35 鳥取県米子市岡成281	0859-27-1450

※艇友会会員名簿は、艇友会のご了解を得て力潜とは別に発行することになりましたので、今回より割愛させていただきます。予めご了承下さい。

《現 役 部 員》

現役部員	氏 名	出身校	現 住 所 ・ 帰 省 先	TEL
4 回生	有馬 誠生 (法・法律)	戸 畑	(現)〒601 京都市南区唐橋琵琶町28 双愛寮 (帰)〒802 福岡県北九州市小倉北区霧ヶ丘2丁目15-10	075-662-5035 093-923-0907
4 回生	石井 宏明 (法・法律)	開 明	(現)〒576 大阪府交野市松塚35-16	0720-91-2880
4 回生	石橋 欣也 (法・法律)	川 和	(現)〒520-21 滋賀県大津市瀬田3丁目2-30 (帰)〒226 横浜市緑区竹山2-2-4 2206-612	0775-45-0702 045-932-6131
4 回生	岩田 勇人 (経)	滝	(現)〒601 京都市南区唐橋琵琶町28 双愛寮205号 (帰)〒507 岐阜県多治見市北丘町8-1-350	075-672-5679 0572-27-9383
4 回生	岡前 秀彦 (文・社会・社会)	同志社香里	(現)〒664 兵庫県伊丹市山田松ノ内10-14	0727-85-2651
4 回生	渋谷 一郎 (経)	高知専門学校	(現)〒560 大阪府豊中市宮山町4-16-19	0727-85-2651
4 回生	徐 東駿 (商)	神戸	(現)〒 (帰)〒651-22 神戸市西区春日台1丁目24の1	078-961-2254
4 回生	高石 徹 (文・文化・文化史)	春日丘	(現)〒567 大阪府茨木市白川3-1-8-304	0726-35-5923
4 回生	高橋 功 (文・社会・産業関係)	大 谷	(現)〒520-21 滋賀県大津市瀬田3丁目20-21	0775-45-6843
4 回生	竹野内 直毅 (商)	和芝富田林	(現)〒586 大阪府河内長野市南花台4-4-8	0721-64-8843
4 回生	土肥 康治 (工・物質科学工)	膳 所	(現)〒520-05 滋賀県滋賀郡志賀町小野朝日2-13-1 (現)〒602 京都市上京区烏丸通今出川上ル一筋目西入ル 岡松町258-1 (帰)〒862 熊本県熊本市江津1丁目436-2	0775-94-2344 096-362-0962
4 回生	内藤 竜一 (文・社会・社会福祉)	熊本学園大付属	(現)〒611 京都府宇治市小倉町南浦15-17	0774-20-1600
4 回生	古川 颯生 (工・機械システム工)	今治北	(現)〒600 京都市下京区上之町15 あかね荘 (帰)〒799-22 愛媛県越智郡大西町宮脇甲1273-7	075-351-4211 0898-53-6153
4 回生	山崎 安雅 (商)	美 方	(現)〒601 京都市南区唐橋琵琶町28 双愛寮103号 (帰)〒919-13 福井県三方郡三方町館川1-2-21	050-660-0459 0770-45-2588
4 回生	斐川 仁志 (文・社会・社会)	清 風	(現)〒590-05 大阪府泉南市新家216-38	0724-84-3766
4 回生	和田 大輔 (商)	奈良女子大付属	(現)〒573 大阪府枚方市北片鉢町12-22	0720-56-4588
4 回生	植西 理恵 (法・法律)	同志社女子	(現)〒520-21 滋賀県大津市月輪5丁目15-17	0775-43-2322
4 回生	小田 恭子 (文・文化・国文)	同志社女子	(現)〒617 京都府長岡京市神足2-3-3	075-951-6044

4 回生	林田 直子 (文・英文)	同志社	(現)〒607 京都市山科区東野八反畑町58-3-506	075-581-9556
3 回生	和泉 智彦 (工・物質科学工)	基 町	(現)〒610-03 京都府綴喜郡田辺町興戸鉢立112 ユーゲント・マノワール506 (帰)〒739-21 広島県東広島市高屋町稲木1524	0774-63-8125 0824-34-1702
3 回生	坂口 健 (商)	宇和島東	(現)〒520-21 滋賀県大津市瀬田3丁目2-30 (帰)〒798 愛媛県宇和島市大浦甲1771-46	0775-45-0702 0895-25-5689
3 回生	玉置 智雄 (商)	春日丘	(現)〒567 大阪府茨木市耳原3-3-4-202	0726-43-1654
3 回生	綱嶋 雄一郎 (文・社会・産業関係)	同志社国際	(現)〒631 奈良県奈良市松陽台4-3-8	0742-41-4078
3 回生	寺田 忠則 (文・英文)	同志社国際	(現)〒590-02 大阪府和泉市のぞみ野一丁目25番 2-605号	0725-57-5508
3 回生	牧之瀬 寛清 (工・電気工)	清 風	(現)〒630-02 奈良県生駒市辻町25-34	07437-5-2831
3 回生	石田 あづさ (文・英文)	三 島	(現)〒569-11 大阪府高槻市安満東の町3-14	0726-85-2125
3 回生	河野 宏美 (文・英文)	大聖寺	(現)〒610-01 田辺町三山木直田7-1 513 (帰)〒922 石川県加賀市美谷が丘175番地	07617-2-1307
3 回生	中島 千尋 (文・英文)	南	(現)〒551 大阪市大正区平尾1-9-9	06-553-8610
2 回生	大山 智司 (商)	和芝富田林	(現)〒584 大阪府富田林市甲田3-7-22-308	0721-23-2509
2 回生	亀井 健治 (経)	明 法	(現)〒619-02 京都府相楽郡精華町菱田山ノ下10 狛田クリーンハイツ322 (帰)〒184 東京都小金井市東町1-16-4	0774-95-2002 0423-83-1848
2 回生	北谷 充 (経)	関 西	(現)〒611 京都府宇治市伊勢田 (帰)〒700 岡山県岡山市津島福居2-4-14 (現)〒610-03 京都府綴喜郡田辺町三山木上谷浦4 ノース・リバー・ハイツ205号 (帰)〒392 長野県諏訪市四賀桑原5233-1	050-650-1172 086-252-8531 0774-65-9753 0266-53-5700
2 回生	高橋 輝 (経)	同志社国際	(現)〒520-21 滋賀県大津市瀬田2丁目1-16	0775-43-6650
2 回生	梁 震国 (工・機械システム工)	分	(現)〒619-02 京都府相楽郡精華町下狛下新庄80-1 泉荘104 (帰)〒272 千葉県市川市菅野4-8-13 (現)〒610-01 京都府城陽市寺田東ノ口12-1 宮崎マンションII 212 (帰)〒272 千葉県市川市南八幡4-18-18-201	0774-93-3509 0473-21-2554 0774-55-8328 0473-78-6578
2 回生	若杉 圭 (工・機能分子工)	日大習志野	(現)〒663 兵庫県西宮市浜甲子園1丁目1-4	0798-48-7460
2 回生	赤坂 知紗 (経)	親和女子	(現)〒659 兵庫県芦屋市茶屋之町2-10	0797-32-9619
2 回生	田中 真由子 (経)	新島学園	(現)〒610-03 京都府綴喜郡田辺町興戸塚ノ本69-3 アルテハイム田辺IV-409 (帰)〒379-02 群馬県碓氷郡松井田町新堀1114-4	0774-63-8850 0273-93-3308

編集後記

同志社大学漕艇部の活動を記録し、また日頃よりご支援ご指導を戴いております諸先輩方、並びに関係者の方々にその活動をよりよく知って頂き、現役部員との交流を深めようとの目的で発行しております「力漕」も、今回をもちまして第四号を迎えることとなりました。

今回より編集の方法を変え、内容の充実を図るべく努力して参りましたが、制作知識の不足から発行が大幅に遅れてしまい、申し訳ございませんでした。不十分な点につきましてはご助言いただき、今後の「力漕」制作に活かして参りたいと考えております。

最後になりましたが、今回の発行に際し、印刷、編集に関し多大なるご理解ご協力を戴きました梅岡先輩、諸先輩方、各企業の方々、そしてご多忙中でありながらご寄稿いただいた方々に対し、厚く御礼申し上げますとともに、今後ともご支援ご指導を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

同志社大学体育会漕艇部

広報担当 林田 直子
河野 宏美

同志社大学体育会漕艇部報「力漕」

1997年5月1日発行

発行者 同志社大学体育会漕艇部
〒520-21 滋賀県大津市瀬田3-2-30
(TEL) 0775-45-0702
(FAX) 0775-43-1194

広告掲載料振込先：三和銀行 京都支店 普通預金
口座番号 5228258
同志社大学ボート部「力漕」
代表 林田直子



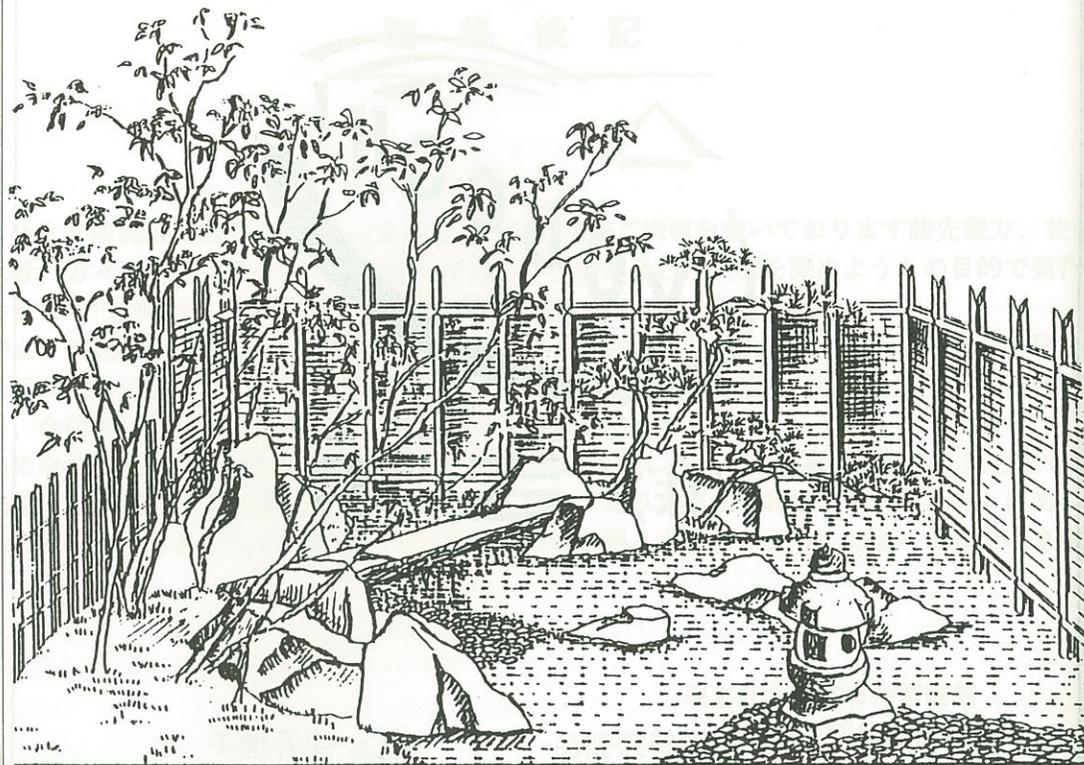
(株) 吉年

■営業品目

可鍛鋳鉄製品
パーラ仆可鍛鋳鉄
ダクティル鋳鉄製品
鉄道車両部品
自動車部品
産業機械部品
碍子金具

△ 印管継手
スミコート継手
Kコア継手、KWコア継手
△ ニップル
スミニップル
鋳物フランジ
その他の継手

本社 〒586 大阪府河内長野市上原町770番地 TEL(0721)53-3121(代) FAX(0721)54-1814
東京営業所 〒103 東京都中央区日本橋3丁目3-4(マーケティングビル3F) TEL(0721)53-3141(代) FAX(0721)53-3148
TEL(03)3237-7881(代) FAX(03)3273-7880



暮らしの中に、
心和ます、京の庭

特定建設業許可番号(特-3)第17252号

石豊造園土木株式会社

代表取締役 田中 安太郎

京都府久世郡久御山町中島20

☎(075)631-6959(代)

FAX(075)632-1212

ますます
テラノになる。

DIESEL SPORTS 150PS

新開発のQD32ETiエンジン搭載。Gシリーズ新登場。

TERRANO



大阪日産

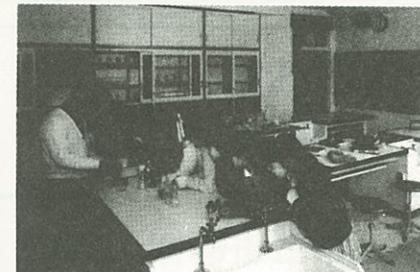
本社/大阪市福島区福島4丁目3番22号

お客様相談窓口(フリーダイヤル)

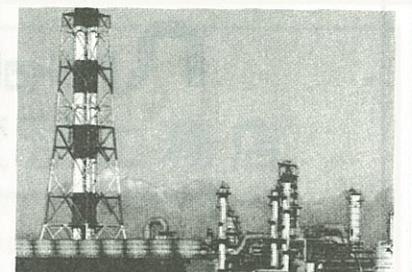
☎ 0120(39)2301



体力科学機器
**PHYSICAL
SCIENCE**



理科機器
SCIENCE



産業科学機器
**INDUSTRIAL
SCIENCE**



YAGAMI

八神国際貿易株式会社 〒460 名古屋市中区丸の内三丁目2番29号
TEL.(052)962-3811/FAX(052)971-1398

YAGAMI INTERNATIONAL TRADING CO.,LTD.

HEAD OFFICE:NO.2-29, 3-CHOME, MARUNOUCHI, NAKA-KU, NAGOYA 460, JAPAN

TEL.(052)962-3811/FAX.(052)971-1398 / TLX.0444-7507 YAGAMI J

CABLE ADDRESS: "YRSCO", NAGOYA



近くて便利な
南部自動車学校

☎0596-23-1155(代)

オートザム伊勢
〒519-05 三重県度会郡小俣町元町1648-10
AUTOZAM TEL:0596-27-3236 FAX:0596-27-3706

大東自動車株式会社

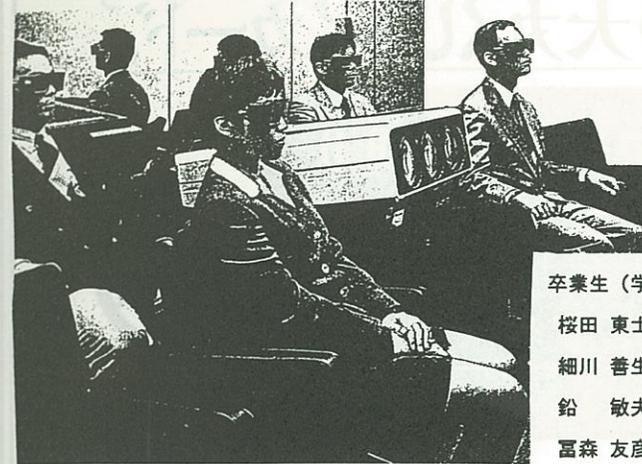
 **Nakabo Co., Ltd.**
ナカボ一株式会社

代表取締役 社長 **中島 俊一郎**

本社：〒541 大阪市中央区淡路町3丁目6番14号
Tel. 06-202-2555

Silicon Valley ほかの New Technology にいち早く Contact

日商エレクトロニクスは、数々の Computer High Technology を日本にもたらしています。



同志社田辺校舎、今出川校舎に
高解像度 Projector System を納入
大スクリーンによる
21世紀の新しい授業環境を提供

卒業生 (学部・卒年/現職)

- 桜田 東士(電子 S43 /営業)、和田 尚(経 S51/人事)
- 細川 善生(電気 S51/営業)、藤島 隆之(電子 S52 /営技)
- 鉛 敏夫(経 S59 /経理)、山岸 彰(経 S62 /営業)
- 富森 友彦(機械 H5 /営業)、小坂 真理(英文 H 7 /インストラクター)

NE 日商エレクトロニクス株式会社

〒104 東京都中央区築地7-3-1 TEL 03 (3544) 8311 (代表) FAX 03 (3542) 3335

東証2部上場、資本金 66.4 億円、売上高 401 億円(96 / 3)、従業員 749 名

本社=東京、支社=大阪、支店=名古屋・福岡、営業所=札幌・仙台・高崎・静岡・広島、出張所=高松ほか

米国現地法人=Irvine, CA. / Santa Clara CA. / North Carolina NC.



株式会社

入江工務店

〒606 京都市左京区田中西大久保町46
TEL. (075)781-5703 FAX. (075)712-0025

代表取締役 **入江 豊**

一級建築士

カード時代の商品券です。
プリペイドの大丸くじゃくカード。



ショッピングのたびに、ご利用年月日と残額を裏面に表示、
小銭にわずらわされることなく、お買物が楽しめます。

●券種…3千円、5千円、1万円、3万円、5万円、10万円の6種類。

お求め・お問い合わせは **1階 商品券売場**



DAIMARU
大丸・四条烏丸
電話 (075)211-8111

きものサロン



もりもと

大阪市此花区梅香3丁目30-22

電話 (06) 463-5298

ヨロズゴフクヤ

株式会社 王子製作所

船舶用機装部品・建設機械部品
並びに各種製缶加工・一般建築鉄骨施工

本社 兵庫県加古郡播磨町新島23番地
電話加古川 (0794)37-1600代
FAX (0794)35-6181

丸亀工場 香川県丸亀市垂水町2747番地
電話丸亀 (0877)28-7004
FAX (0877)28-5162

大久保自動車整備工場

大阪陸運局指定民間車検工場
自動車整備・钣金・塗装・販売・保険代理店

兵庫県加古郡播磨町新島23番地
電話加古川 (0794)37-1221代
FAX (0794)35-6181

植西第三歯科医院

院長 植西 正

大津市一里山一丁目14-43

☎ (0775) 45-8328

家族の幸せは健康から



くすり 化粧品 **h** ハヤシダ

〒601-13 京都市伏見区石田森南町32-1 TEL 075-572-9300
クスリ

WOOD LIVES

「木」を愛し、「木」を活かす

—OMIZOが誇る工業技術。



大溝工業株式会社

代表取締役 阪田 良之助

木材製品、新建材、製造販売
一般建築業(建築・大工・内装仕上工事)
宅地建物取引業

本社 滋賀県高島郡高島町大字勝野 (〒520-11)

TEL(0740)36-0030
FAX(0740)36-1213



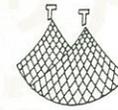
京阪シルク株式会社

代表取締役

新井 喜範

京都市下京区五条通西洞院東入
電話 075-351-2340 (〒600)
FAX 075-351-4352

政府登録国際観光旅館



びわ湖瀬田川畔

あみ舟 元祖
あみ定

あみ定

大津市唐橋町23-1
TEL (0775) 37-1780(代)
FAX (0775) 37-1791

学生のコンパその他各種宴会大歓迎!!
焼肉のフルコース世界一周

スタミナ料理・焼肉
麗門
REIMON

本店・
滋賀県大津市栄町17-1
☎0775-37-1319
ミナ イサイク

朝9時~夜10時まで営業

公園店/☎0775-33-2941 夕5時~夜10時まで営業

JR石山駅前店/☎0775-37-3700

夕5時~夜10時まで営業

お気に入りのヘアスタイルを
いつまでも
ご来店ありがとうございます。



in yokomachi

予約できます
お電話下さい

カットルーム

TANBA

営業時間 AM8:30~PM7:00

定休日 毎週月曜日・第1火曜日
・第3日曜日

大津市瀬田1丁目16-8

瀬田商店街

スーパーハッピー瀬田近く

TEL(0775) 45-0226

加藤内科胃腸科

院長 加藤 三郎

		月	火	水	木	金	土
午	9:00						
前	12:00	○	○	○	/	○	○
午	5:00		※				
後	8:00	○	/	○	/	○	/

休診: 木・日曜日, 祝祭日, 火・土曜日の午後
※但し火曜日の午後 1:00-5:00 迄は
予約検査を致します。

☆ 来院時には, 診察券を必ずご持参下さい。
☆ 毎月初めには, 保険証をお出し下さい。

大津市神領二丁目39-3
(建部大社 東側)

TEL 大津 (0775) 45-8810

倉敷ビバリーテニスクラブ

倉敷市大島369 ☎(086)425-0525

くんせい工房・楠戸

倉敷市羽島733-7 ☎(086)422-7198

楠戸 俊宣

S49 文卒

〈協賛〉

佐野閨一(昭和35年卒)

ローソン瀬田一丁目店

セイコーマートむらた

ハッピー瀬田

ブルート

喫茶
レストラン

アドリア

湖岸道路唐橋下ル
TEL(0775)37-1439

ちゃんこ鍋、大皿料理

万里也

万里也別館サンまり也ビル4F
(割烹料理万里也前)

TEL 0775 (37) 0523

割烹料理・お食事処



万里也

〒520 大津市石山栄町2-4
Phone(0775)37-0523

●営業時間/正后より ●定休日/月曜日 ●駐車場完備
カフェレストラン アドリア 湖岸道路瀬田唐橋西詰下ル
でんわ (0775) 37-1439

(有)野口山陽堂

日本酒とビール・
ウイスキーの店

北井 酒店

瀬田商店街

☎0120-45-2113

FAX 43-0220

チームウェアを作ろう!

■Tシャツ ■ポロシャツ ■トレーナー ■ジャンパー各種



CLUB GALLERY 1/80

クラブギャラリーハチジューブノイチ

京都市中京区三条基小路西入ル サクラビル1F

京都SACRA店:075-231-7484

梅田EST-1店:06-374-3473

心齋橋オーパ店:06-258-3805

神戸東急ハンズ店:078-332-0057

"良い品と一緒に送ろう真心を"

クッキング・デポ

タイハイ株式会社

京滋・北陸地区 滋賀営業所

〒520-30

栗田郡栗東町小柿546

0775(53)7440

MEMO

TaKaRa

日本の慶び。



よららひの清酒
松竹梅

お酒は20歳を過ぎてから。 宝酒造株式会社

